

MOBILE SUIT RX-0 UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:RX-0 HEIGHT:19.7-21.7m WEIGHT:23.7t MATERIAL:GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS / VULCANGUN X 2 BEAM MAGNUM X 1 HYPER BAZOOKA X 1 BEAM SABER X 4 SHIELD X 1
CONSTRUCTOR:ANAHEIM ELECTRONICS

RX-0 UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

Gundam models Designed and produced by Ka

MG RX-0 UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : TAKAGI SUNAO(GUNDAM A)
 : SHUNSUKE OMORI(GUNDAM A)
Design : SAITO DAISUKE
Writing : KOUJI MITARAI
Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI(JAM)
Special thanks : HARUTOSHI FUKUI



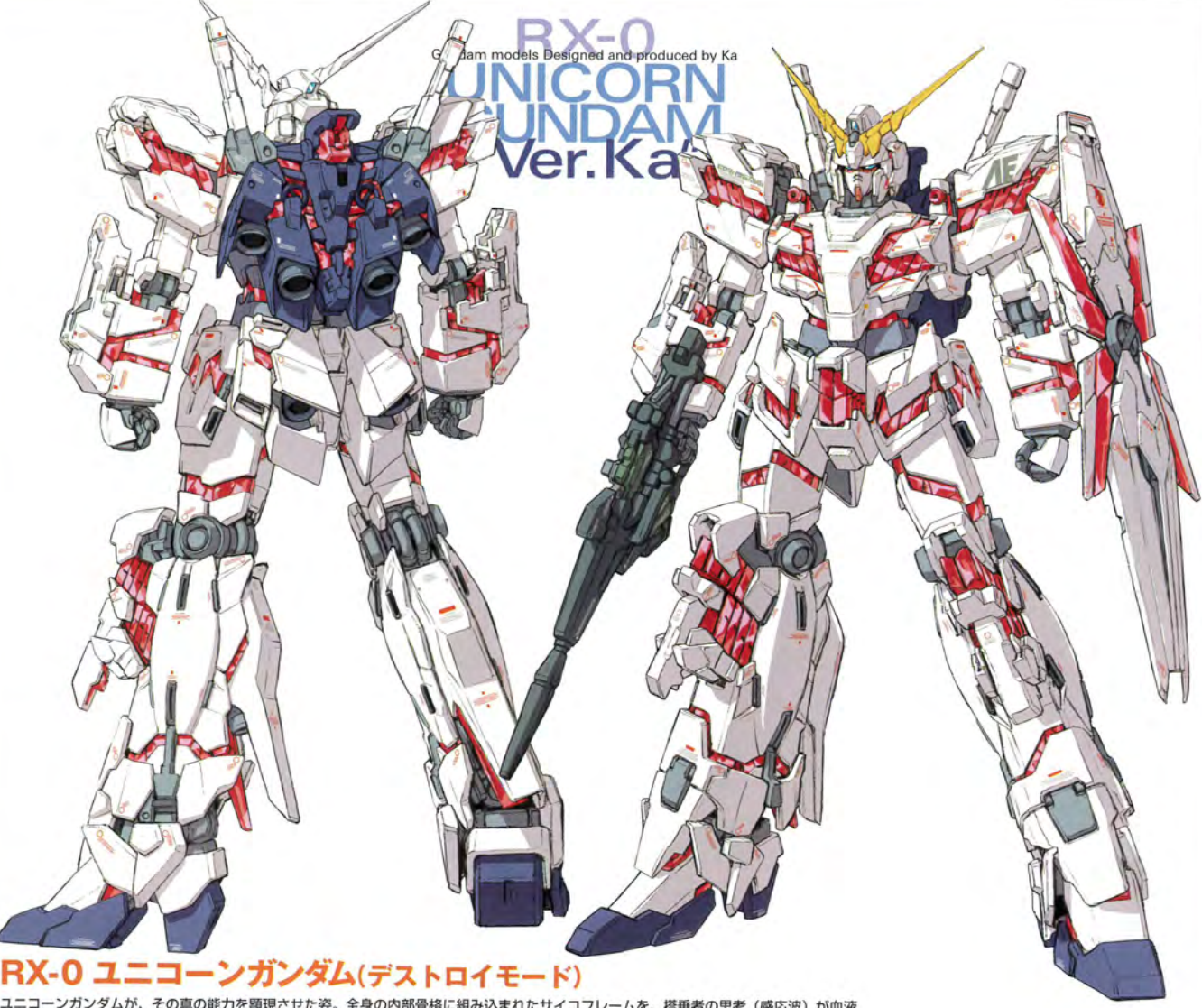
FULL PSYCHO FRAME PROTOTYPE MOBILE SUIT
U.C.0096 PROJECT UC/La+

BANDAI 2007 MADE IN JAPAN



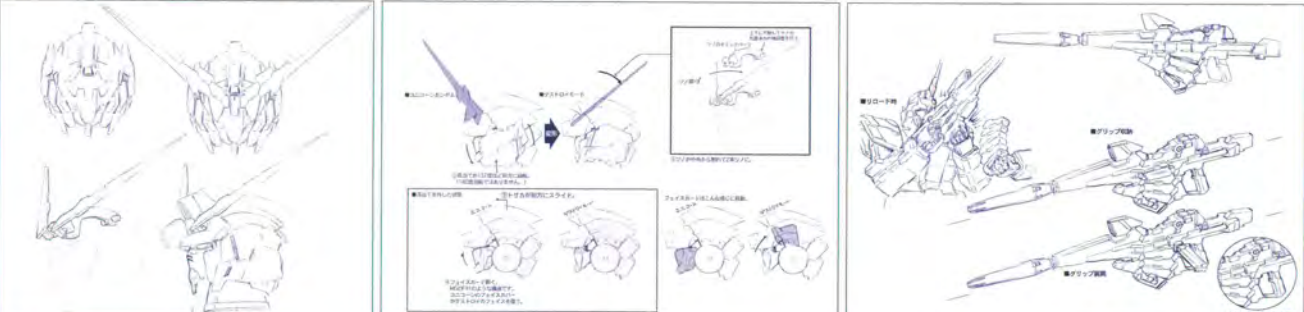
写真の完成品は塗装してあります。

Gundam models Designed and produced by Ka
RX-0 UNICORN GUNDAM Ver.Ka

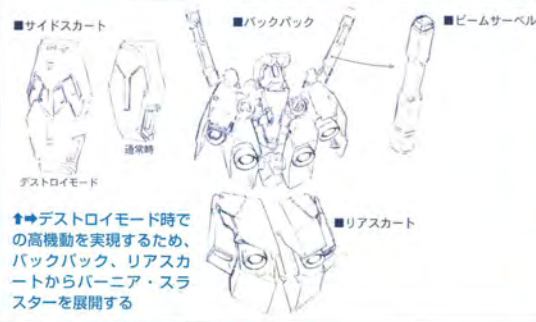


RX-0 ユニコーンガンダム(デストロイモード)

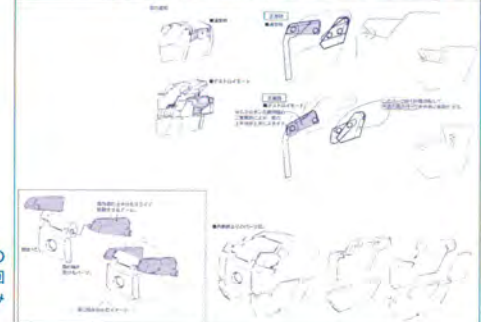
ユニコーンガンダムが、その真の能力を顕現させた姿。全身の内部骨格に組み込まれたサイコフレームを、搭乗者の思考（感応波）が血液のように駆けめぐり、機体を操縦することができる。いわば究極のcockpit・インターフェースである。その反面、搭乗者への負荷、発生するG、サイコミュが脳に与える負担は絶大なものとなる。そのためデストロイモードでの稼働限界時間は、約5分と想定される。



- ↑スタンダードなRX-78系のフェイスに、1本から2本へと割れた角は大きくデザインされている
- ↑頭部変形ギミック。側面の頬だけが前方へ回転、フェイスカバーを額内部へ収納後、一本角が中央から割れてV字状の角へと展開
- ↑1発で通常のビーム・ライフル4発分相当の威力を発揮する専用銃「ビーム・マグナム」。1射ごとにエネルギー・バックを排棄する



デストロイモード
 頭部のガンダムタイプへの変形、全高の伸長、全身の装甲がスライド・展開し、内部のサイコフレームがむき出しとなるギミック。映像化・商品化を前提としていなかったからこそ、盛り込んだアイデアと、デザインといえる



→「肩部分の変形構造は単に外観のデザインだけでなく、その分割や回転を利用した展開ギミックの仕組みが同時に描かれている。」

可能性の獣……、ユニコーン

Interview ; Harutoshi Fukui / Katoki Hajime

ノベライズではなく文芸発のガンダム作品として、福井晴敏氏が重厚な筆致を魅せる小説「機動戦士ガンダムUC」。ユニコーンはさらに活動領域を押し広げ、このたびMGシリーズでのプラモデルキット化となった。ここでは著者・福井晴敏氏と、メカデザインのカトキハジメ氏のコメントを交え、ユニコーンガンダムの魅力に迫ってみよう。

「機動戦士ガンダムUC」の著者である福井晴敏氏は、詩人L・M・リルケの詩の一節を読んだとき、そこに出てくる神獣「ユニコーン」と、「ニュータイプ」という存在がびたりと重なったという。「人がその存在を信じることを生きる糧とする『可能性の獣』ユニコーンと、宇宙へと生活の場を広げた人類の、進化の可能性を示す『ニュータイプ』。この2つを重ね合わせつつ、現代が抱える不安や澁みが盛り込まれ、今の世代へ向けた新たな宇宙世紀の物語が生まれた。そこには著者が『ファーストガンダム』で感じた時代性と先鋭性が内包され、当時熱狂していた今の大人たちにも、その意志を継承する作品として感じてもらえるはずだ。

そのシンボルとして物語に登場するMS「ユニコーンガンダム」。連載を始めるにあたって、福井晴敏氏にはひとつのイメージがあった。

福井「カトキハジメさんにデザインをお願いするときに、『それは商品にするとときにやりづらいですよ』と反対されたのですが、俺がすごくこだわったところがあって。それが『1本角が割れて2本になる』。それと『人相が変わる』ということをお願いしました。具体案はまったくなかったのですが、『あなたならできます！カトキさん！』と半ば強引にお願いしました(笑)」

「角が割れて2本になる」というコンセプトを提示され、カトキハジメ氏がさらにビジュアルイメージを昇華させていく。「角が割れる」というシンボリックなイメージはそのままに、よりドラマチックな演出をプラスするため、身長も伸

び、まったく異なるデザインに変形するガンダムが生まれた。このユニコーンガンダムの変形を福井晴敏氏は「変身」とあえて呼んでいる。

福井「今までのガンダムシリーズでは、必ず何か一要素が付け加えられてきたんです。Zガンダムなら『変形』、ZZガンダムは『合体』。F91だったら『小型化』、さらに漫画ではクロスボーンガンダムの『マント』とか。今回の小説に登場するガンダムに、今までにやったことのない一要素を取り入れるとしたら？ 突飛なものではなく普遍的なもので、まだガンダムがやったことがないもの、それが『変身』なんです」

ガンダムタイプへと“変身”するユニコーン。その物語の上での意味付けも、福井晴敏氏により盛り込まれ、神獣は生き生きと想像の世界を駆けめぐる。「機動戦士ガンダムUC」は『月刊ガンダムエース』で連載を開始。単行本化、プロモーションムービーの制作、さらに今回のMG化と、その疾走は勢いを増すばかり。MGの開発にはカトキハジメ氏も参加、バンダイ ホビー事業部の開発チームも全力の体制で臨んだ。

カトキ「『ユニコーン』は小説という媒体から発信する企画なので、映像化や商品化をひとまず考えないでデザインできる機会だと言えます。そうした事は稀なので、いくつかの限界に挑んでいます。そのひとつが『角』のサイズです。これまでのガンダムのV字角を単に閉じて1本にしただけではシンボリックにはなり得ないと考え、一方でガンダムの角は、もう少し長くても成立するんじ

やないかと以前から思っていたので、これらをひとつに纏め上げたのが今回のユニコーンの角です。ギミック的に見ても大きい方が有利でしたが、角がこれ以上大きくなるとギャグになりかねない。ガンダムらしいV字角という意味ではマキシマムなラインになったと思います」

福井晴敏氏とカトキハジメ氏のこだわりが結実したユニコーンの1本角。もうひとつ、ユニコーンの変形ポイントとなるのが、身長の変化。7頭身のユニコーンモードから8頭身のデストロイモードへの変形。8頭身はガンダムとして許される限界のプロポーションといえる。

カトキ「MGで初めて8頭身にチャレンジしたのは、ウイングガンダムVer.Kaでした。それ以前は、あれほど頭の小さいモデル体型で仕上げたガンダムはなかったのですが、これが受け入れられた結果、ガンダムとして容認されるプロポーションの幅が広がりました。身長を変えると言う事は、頭身を変えると言う事です。ウイングVer.Kaを経たからこそ、ユニコーンは身長を変えることができたのかもしれない」

福井晴敏氏のひとつのこだわりから発し、カトキハジメ氏の手で“形”を手に入れたMGユニコーン。このような映像化や商品化といった制約を受けず、限界にまで踏み込んだデザインというものが時々なければ、技術は停滞してしまうかもしれない。「絶対できない」と思ったものを、それ以上の熱意で取り組む、そこから初めて技術が進化していくのではないだろうか。

文壇の気鋭・福井晴敏氏が描く、新たな宇宙世紀の物語が本作（角川書店刊『月刊ガンダムエース』連載）。キャラクターデザインに安彦良和氏、メカデザインにカトキハジメ氏が参加、サンライズが全面協力している



↑右：パナジー・リンクスと謎の少女オードリー・バーン。左：『シャアの再来』と呼ばれるフル・フロンタル



「機動戦士ガンダムユニコーン」1～2巻 角川書店 発売中

UC.0087-0088 「機動戦士ガンダムZZ」	UC.0093 「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」	UC.0096 「機動戦士ガンダム ユニコーン」
ハマーン・カーン	シャア・アズナブル	フル・フロンタル
×	×	×
エゥーゴ/カラバとの共闘	ロンド・ベル (外郭部隊)	ロンド・ベル

「ガンダムユニコーン」の舞台

UC.0096 インダストリアル7 地球連邦軍

アナハイムエレクトロニクス 開発 → RX-0

パナジー・リンクス 搭乗

フル・フロンタル 接近 → オードリー → 新取

地球連邦軍

「シャアの叛乱」以来、大きな戦乱は起きていないが、ネオ・ジオン軍残党と、ロンド・ベルの散発的な戦闘は続いていた。地球圏はその身に歪みと腐敗を内包したまま、宇宙世紀百年を迎えようとしていた

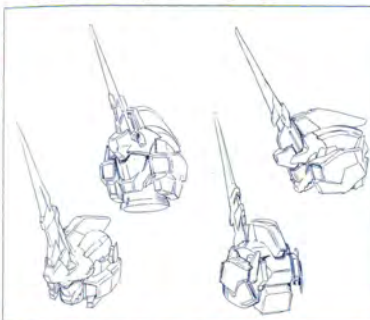
ネオ・ジオン

Gundam models Designed and produced by Ka
**RX-0
 UNICORN
 GUNDAM
 "Ver.Ka"**



◆2つの顔をもつMS。最大の特徴である「角」のポイントは、やはり絶妙な「薄さ」と「大きさ」だろう

◆視線が「一本角」に向くよう、角以外のデザインはオーソドックス。複眼光学センサーもフェイスカバーの奥に



ユニコーンモード
 そのファースト・イメージはまさに「一角獣」。一見すると一本角以外、際だつ特徴をもたない。だが、全身に入る装甲ラインは、すべて拡張し、そこから発光するサイコフレームが現れる



Gundam models Designed and produced by Ka
**RX-0
 UNICORN
 GUNDAM
 "Ver.Ka"**



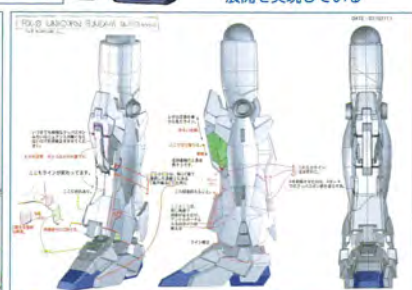
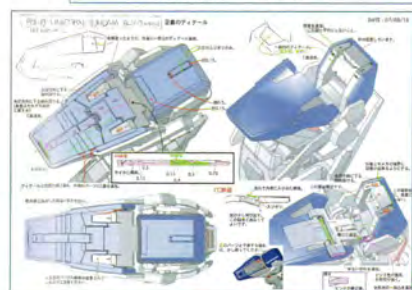
◆脚部フレーム+クリア樹脂の上に装甲が覆い被さる。フォルムを損なうことなく、拡張、展開を実現している

RX-0 ユニコーンガンダム (ユニコーンモード)

地球連邦軍とアナハイム社が極秘に進める「UC計画」の中核に位置するMS。通常のユニコーンモードは、驚異的な機動性を発揮するデストロイモードにリミッターを施した形態で、「NT-D」と表示されるシステムがそれを統括している

◆ビーム・マグナムのエネルギーバック装填ギミックを再現

◆ハイパーバズーカは、使用時は砲身が伸長。マガジンも着脱可能だ



◆折り込まれたヒールを倒立させ、全高を伸長させる。そこから生じる空間にも、細かいディテールの演出が入る
 ◆スティックなイメージをもつユニコーンモードから、一転してデストロイモードでは、多彩な表情を見せる



◆いくつもの装甲で構成される専用シールド。中央にシンボルである「一角獣」を模ったマークを配置している。ほかにも機体全身にアナハイム・エレクトロニクス社のロゴ、各種マーキングが入る。これらは付属のガンダムデカールやマーキングシールドで再現できる
 ◆シールド自体が上下に伸縮し、4枚のプレートが花弁のように左右に展開。全高が伸びたデストロイモードに合わせ、盾自体も拡大、ボリュームバランスが考えられたデザインになっている

◆屹立する2本のビームサーベル。バックバック上部中央にあるのはハイパーバズーカのマウントラッチ



◆展開した装甲から露出したサイコフレームの発光状態を、集光性のクリア素材を使用し、表現

◆デストロイモードで脚部もその表情を大きく変える。ユニコーンモードで見えていた装甲ラインが拡張し、サイコフレームが現れる



◆予備のビームサーベルを両腕に装備する。緊急時には基部を回転、ビームを発生させて、そのまま攻撃に転じることもできる



「機動戦士ガンダムユニコーン」

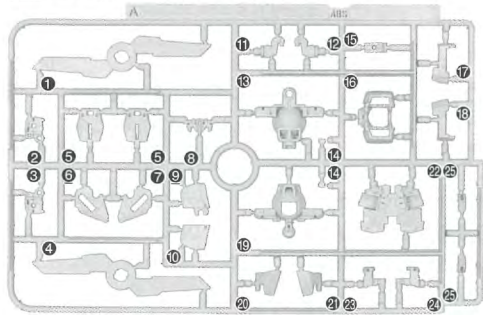
「シャアの叛乱」から3年が経過した宇宙世紀0096年、沈黙化を迎えた地球圏に、新たな火種が灯ろうとしていた。「……『ラプラスの箱』を開ける時が来たのだ」——開放されれば、「本来、そうあるべきだった未来を取り戻す」力を、使い方は現行の地球連邦政府を転覆させるほどの「何か」を秘めた「ラプラスの箱」。その「箱」への道程を示し、「鍵」となるのがMSユニコーンガンダム。工業コロニーの少年、バナージ・リンクスは数奇な巡り合わせと、生来備わった資質からユニコーンの乗り手となる。地球連邦政府、そして「袖付き」と呼ばれるネオ・ジオン軍残党も「箱」の奪取を目論み、地球圏は再び揺れ動く。広大な宇宙へと駆け出したユニコーン。神祕に秘された「鍵」が導く「ラプラスの箱」の正体とは？ 21世紀の宇宙世紀神話が今、始まる。



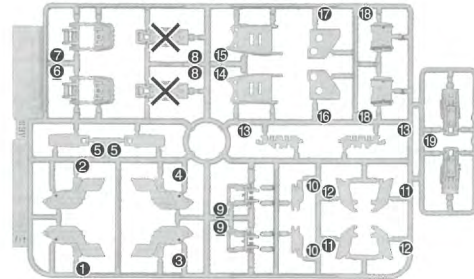
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

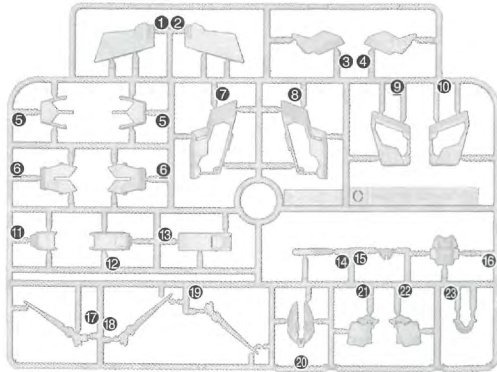
Aパーツ (ABS樹脂: ABS)



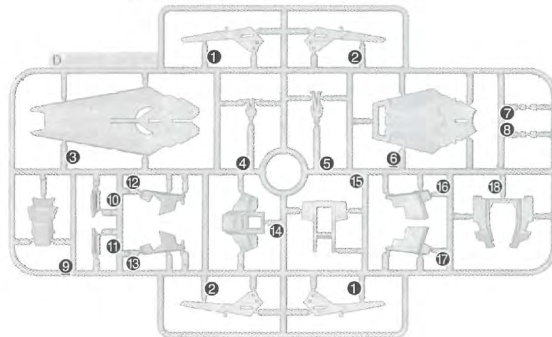
Bパーツ (ABS樹脂: ABS)



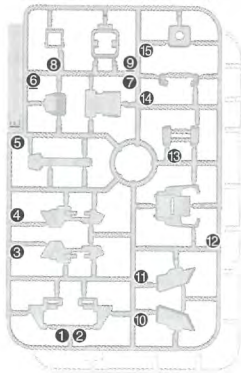
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



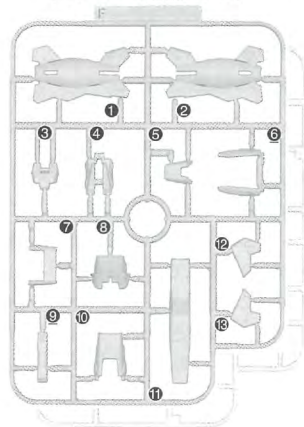
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



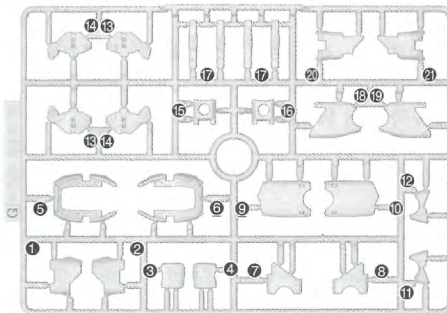
Eパーツ (×2) (スチロール樹脂: PS)



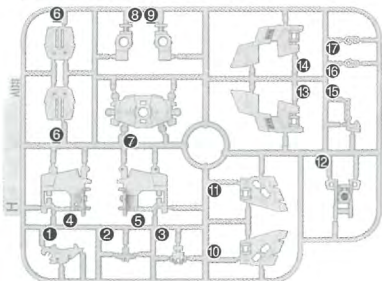
Fパーツ (×2) (スチロール樹脂: PS)



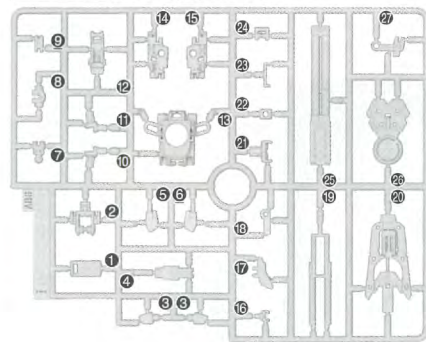
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



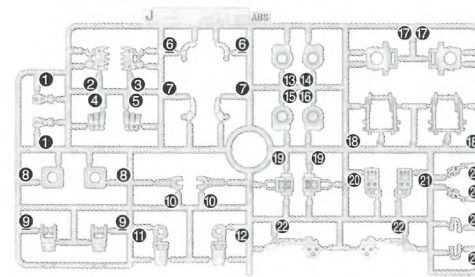
Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



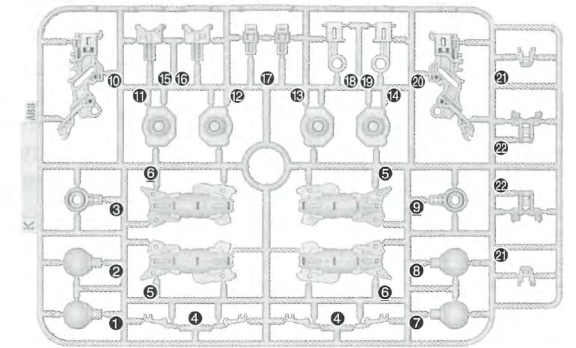
Iパーツ (ABS樹脂: ABS)



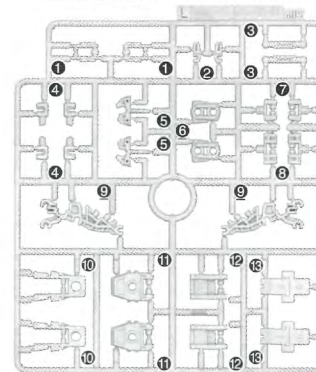
Jパーツ (ABS樹脂: ABS)



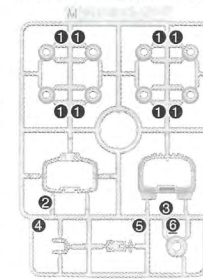
Kパーツ (ABS樹脂: ABS)



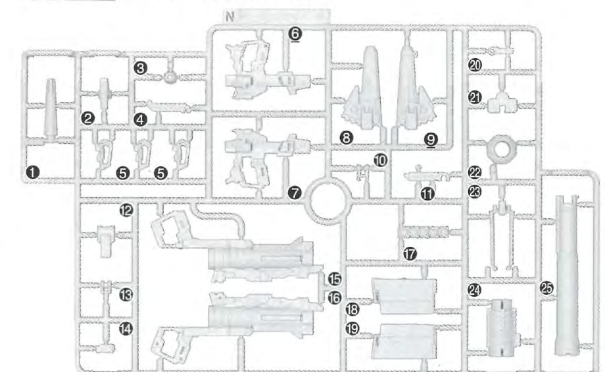
Lパーツ (ABS樹脂: ABS)



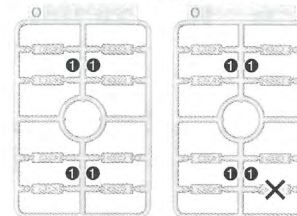
Mパーツ (スチロール樹脂: PS)



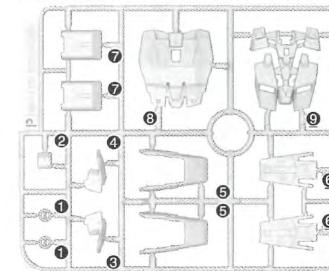
Nパーツ (スチロール樹脂: PS)



Oパーツ (スチロール樹脂: PS)



Pパーツ (スチロール樹脂: PS)



SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)



カラーシール.....1枚
マーキングシール.....1枚
ガンダムデカール.....1枚

△ 注意

必ずお読みください

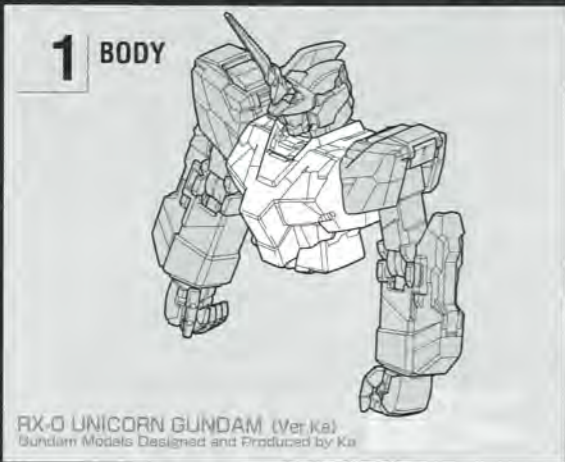
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

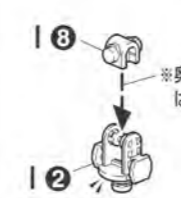
・切る場所	・シールの番号	・テカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に向くパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

※この商品は変形を完全再現するため、部品点数が多くなっております。部品をきれいに切り取り、イラストを良く見て組み立ててください。また、ブロック毎に変形させて完成写真等を参考に組み上がりを確認することをおすすめします。

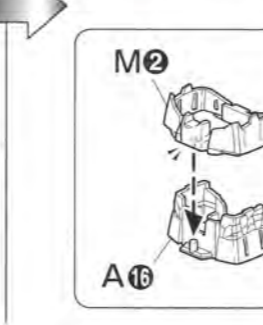
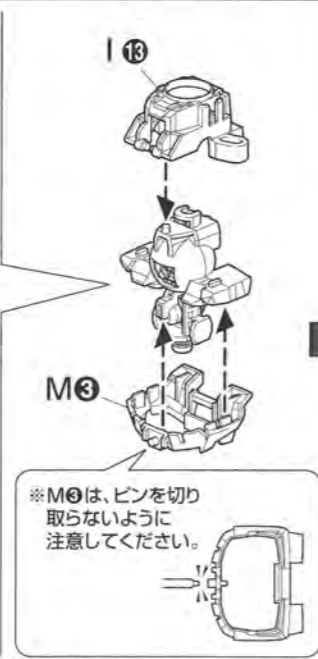
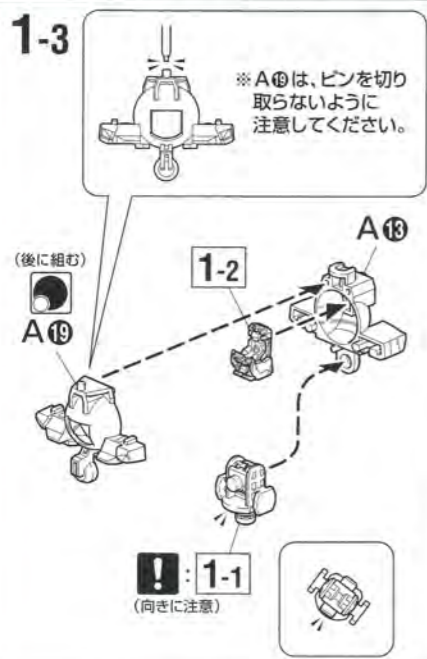


1 BODY

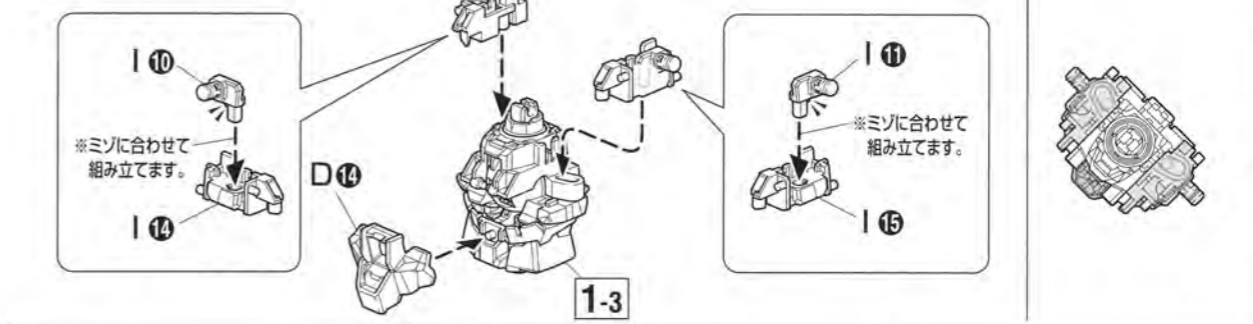
1-1 BODY (ボディの組立)



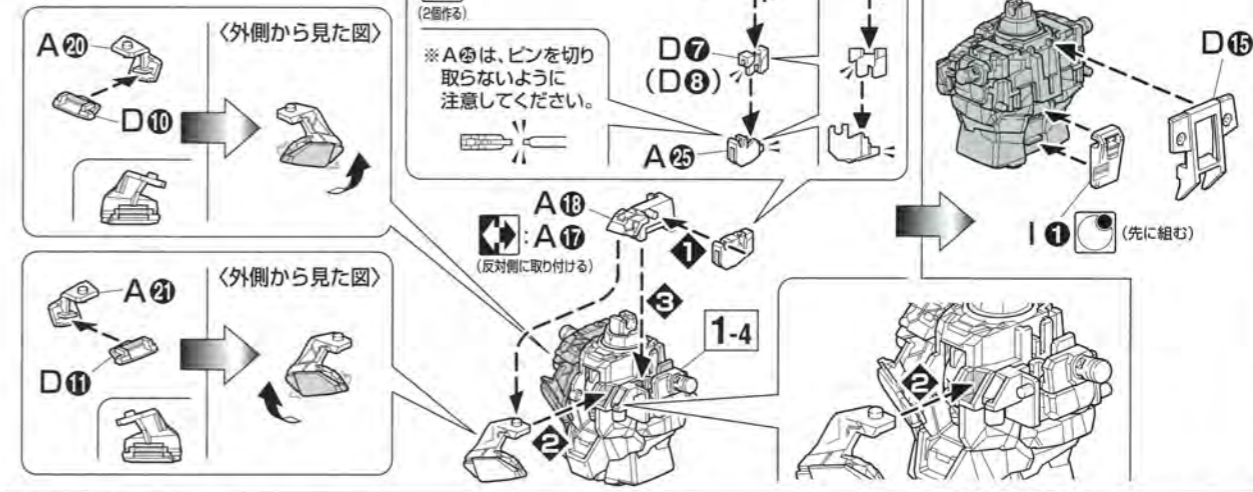
1-2



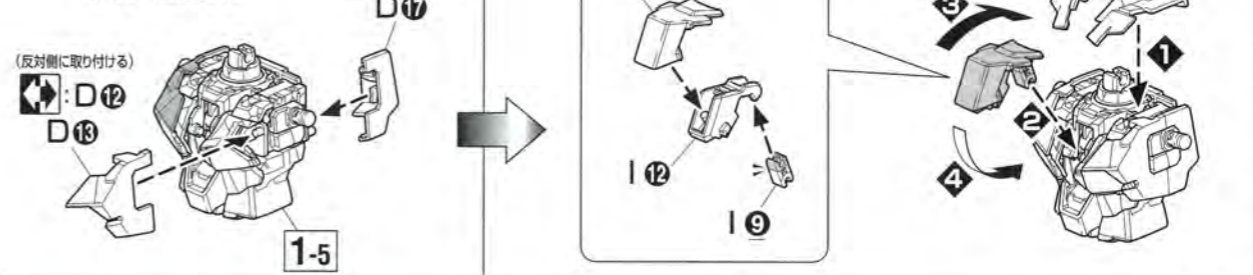
1-4



1-5



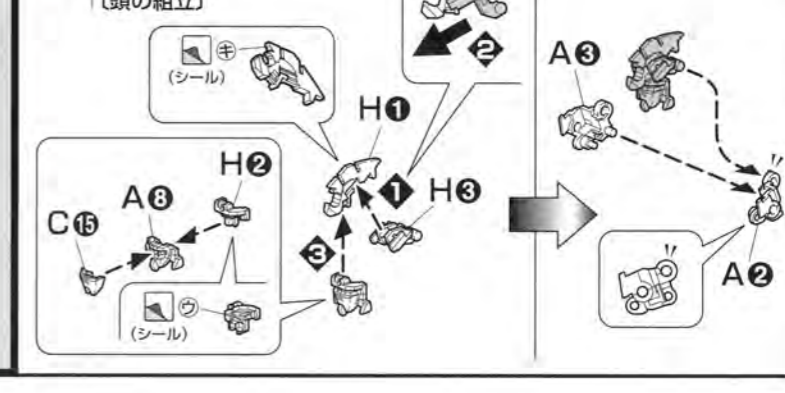
1-6 COMPLETION (ボディの完成)



2 HEAD



2-1 HEAD (頭の組立)



2-2

2-1 (シール) C16

C23

2-3 COMPLETION

(頭の完成)

C14 2-2 C19 (シール) C20 C22 C21 (反対側に取り付ける) C17 (選んで取り付ける) C18 (シール) (切り取る)

3 RIGHT ARM 4 LEFT ARM

RX-0 UNICORN GUNDAM (Ver. Ka)
Gundam Model Designed and Produced by Kai

3-1 RIGHT ARM

(右腕の組立)

J14 J12 (後に組む) J16 B9 J19 J20

3-2

※E6は、突起部分を切り取らないように注意してください。

E5 J22 B10 G16 3-1 E9

E2 E4 E3 E1

3-3 COMPLETION

(右腕の完成)

J9 (向きに注意) J10 J3 J5 J6 J7 J8 (向きに注意) E7 E6

※奥までしっかりと、はめ込みます。

(下から見た図) 外側 = 内側

4-1 LEFT ARM

(左腕の組立)

J11 J13 J15 J24 B9 J19

4-2

※E6は、突起部分を切り取らないように注意してください。

G16 B10 J22 E6 4-1 E9

E2 E4 E3 E1

4-3 COMPLETION

(左腕の完成)

J9 (向きに注意) J10 E15 (向きに注意) ※奥までしっかりと、はめ込みます。

(下から見た図) 内側 = 外側

J2 J4 J7 J6 J8 J1 G4 G17

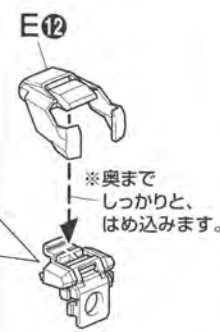
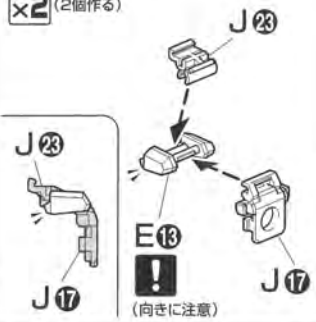
5 UPPER BODY

5-1 UPPER BODY 〔上半身の組立〕



RX-0 UNICORN GUNDAM (Ver. Ka)
Gundam Models Designed and Produced by K&S

×2 (2個作る)



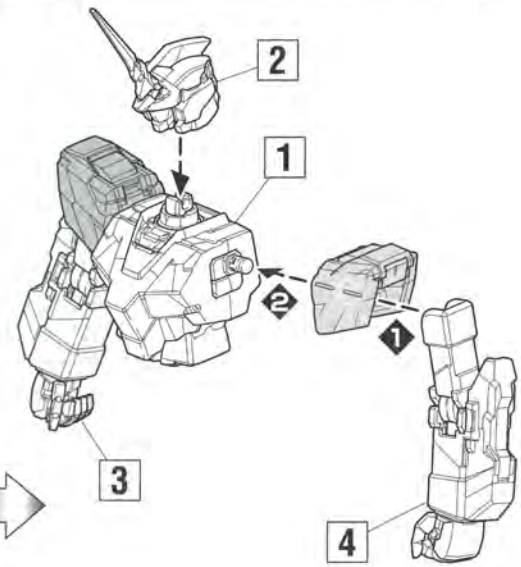
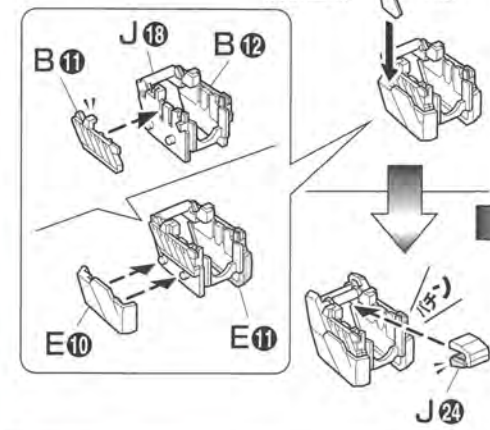
※奥まで
しっかりと、
はめ込みます。



5-2 COMPLETION 〔上半身の完成〕

×2 (2個作る)

! E14
(向きに注意)

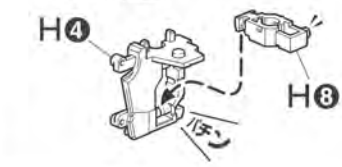


6 WAIST

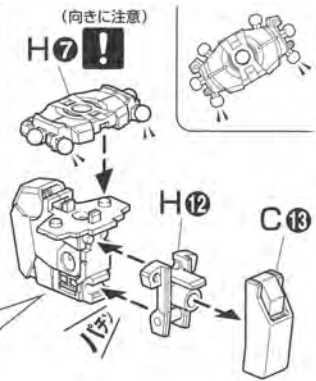
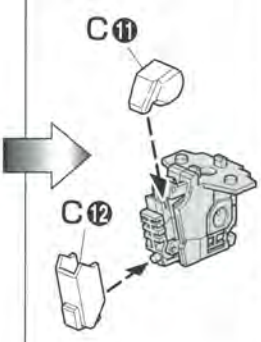
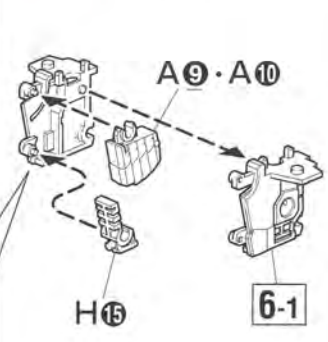
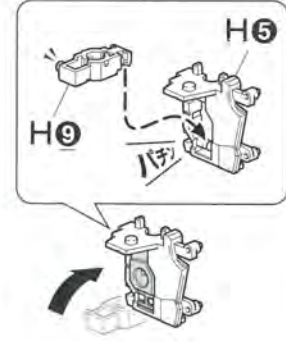
6-1 WAIST 〔腰の組立〕



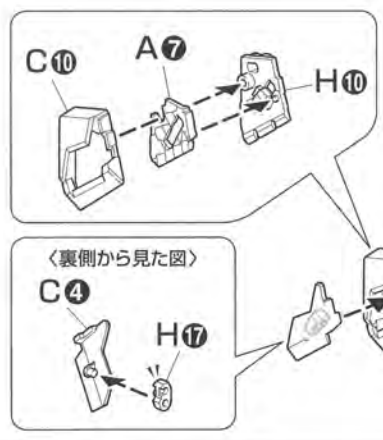
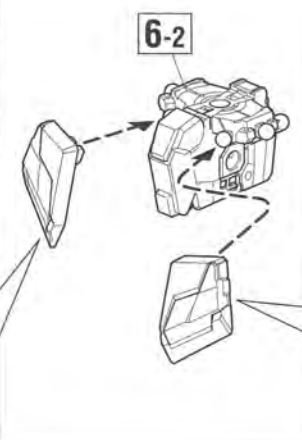
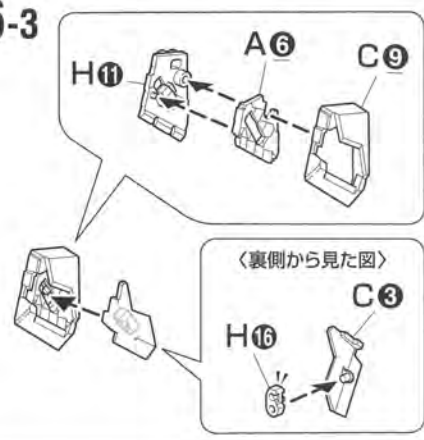
RX-0 UNICORN GUNDAM (Ver. Ka)
Gundam Models Designed and Produced by K&S



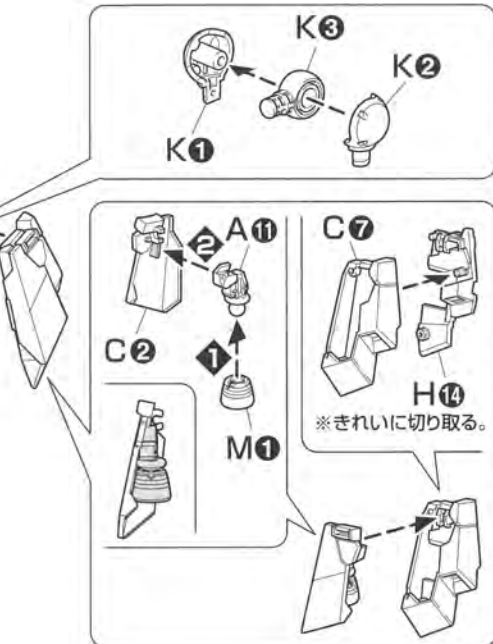
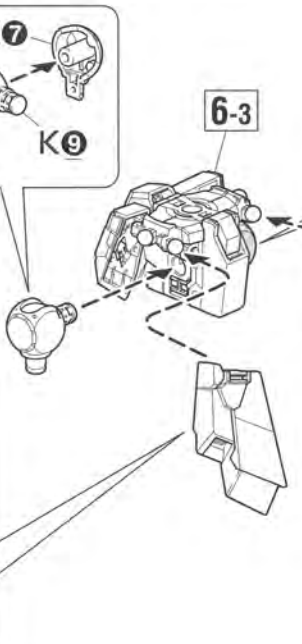
6-2



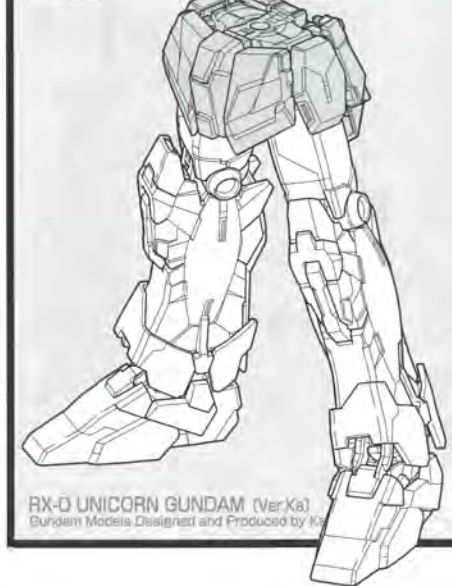
6-3



6-4 COMPLETION 〔腰の完成〕



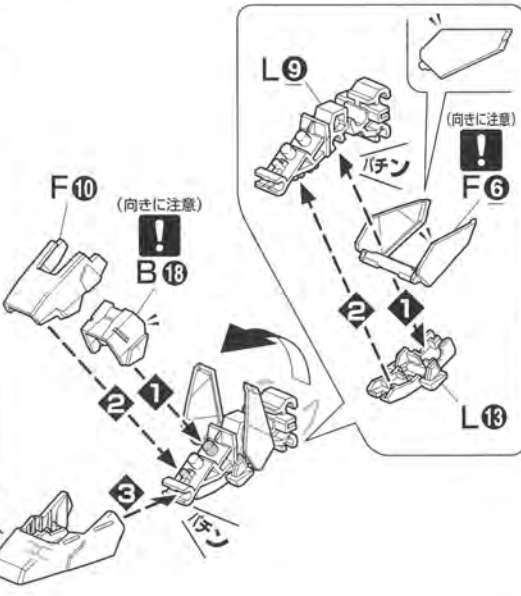
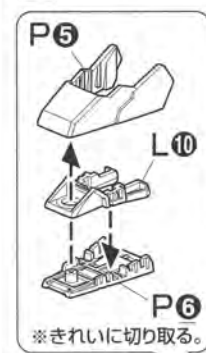
7 RIGHT LEG 8 LEFT LEG



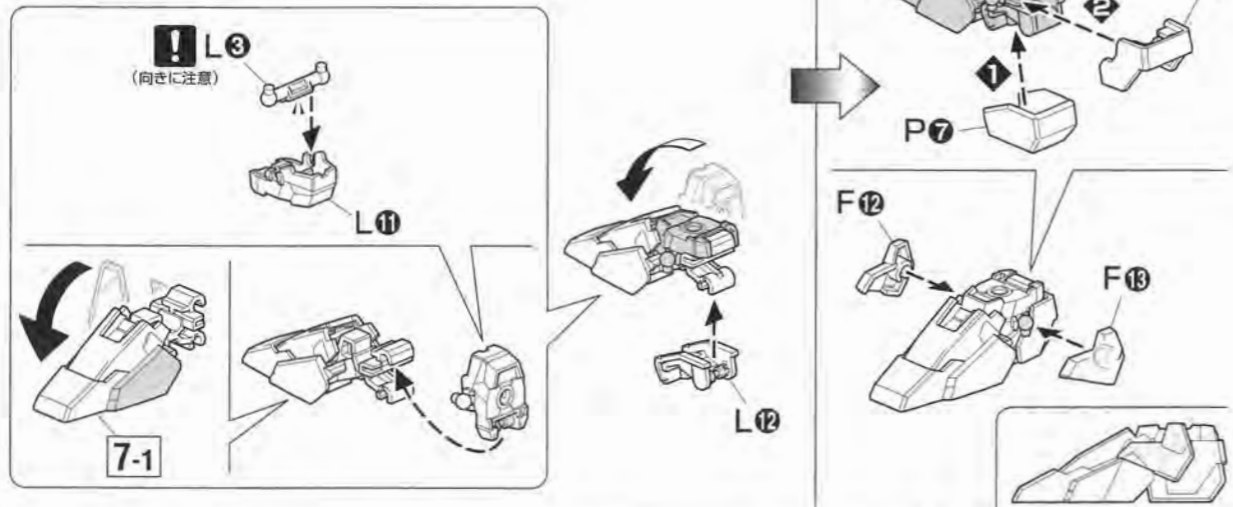
RX-0 UNICORN GUNDAM (Ver. Ka)
Gundam Models Designed and Produced by K&S

7-1 ANKLE 〔足首の組立〕

×2 (2個作る)



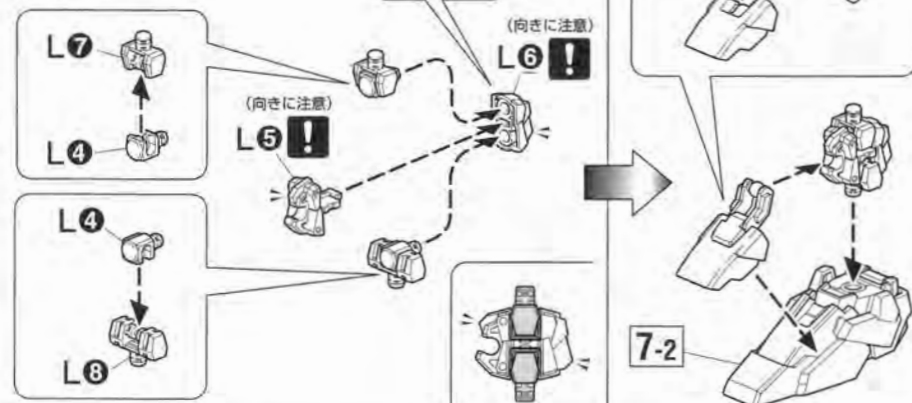
7-2 x2 (2個作る)



7-3 COMPLETION

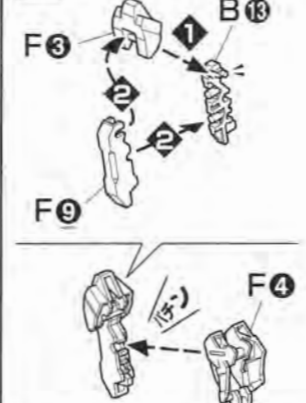
(足首の完成)

x2 (2個作る)



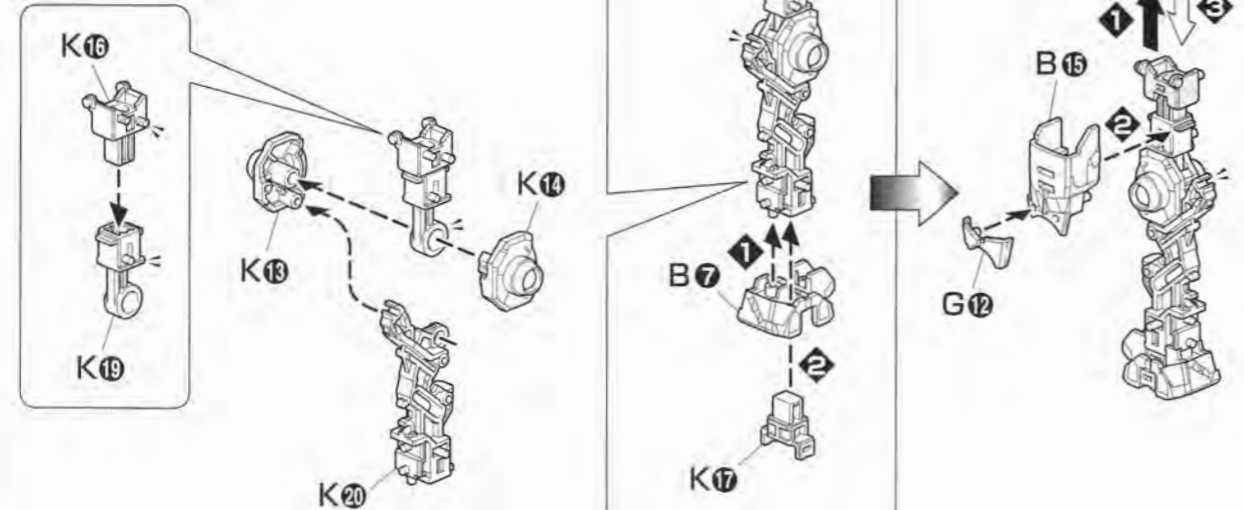
7-4

x2 (2個作る)

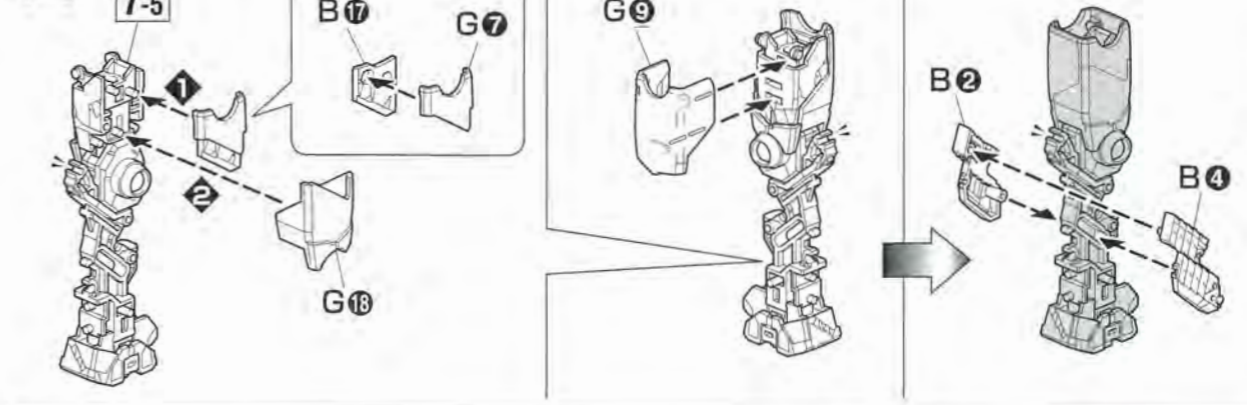


7-5 RIGHT LEG

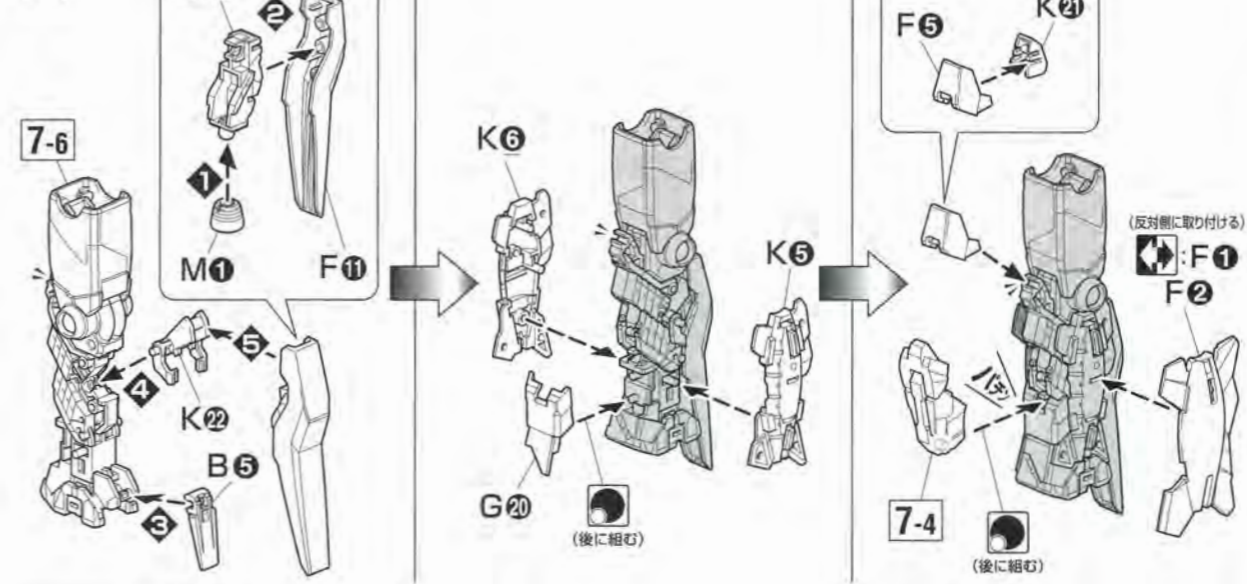
(右脚の組立)



7-6

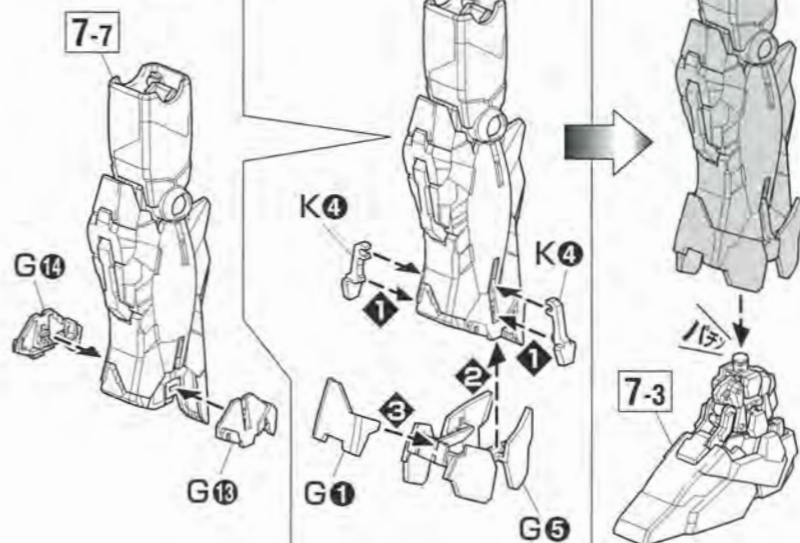


7-7



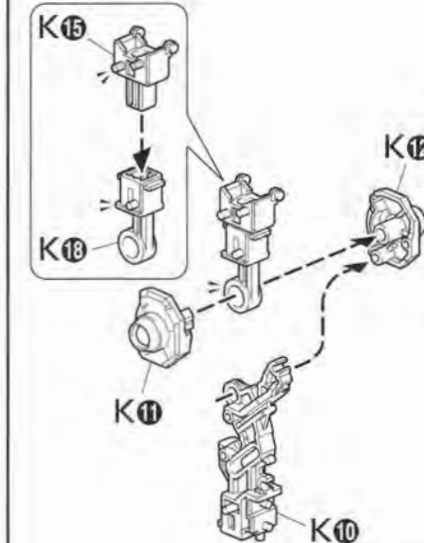
7-8 COMPLETION

(右脚の完成)



8-1 LEFT LEG

(左脚の組立)



8-2

8-1

B6

K17

B14

G10

B16

G10

8-3

8-2

B3

B1

F10

B10

M1

K22

B6

K6

G21

(後に組む)

8-4 COMPLETION

(左脚の完成)

8-3

K21

F5

F1

F2

G14

K4

G6

G2

7-3

(反対側に取り付ける)

(後に組む)

9 BACK PACK

RX-0 UNICORN GUNDAM (Ver.Ka)
Gundam Models Designed and Produced by Kai

9-1 BACK PACK

(バックパックの組立)

A23

M1

A24

P8

I4

A22

(後に組む)

9-2

9-1

P1

(向きに注意)

A15

P9

P2

(90°回す)

P3

9-3 COMPLETION

(バックパックの完成)

I3

I6

G17

P4

P3

9-2

M1

(両側に取り付ける)

10 BOTTOM ASSEMBLE

RX-0 UNICORN GUNDAM (Ver.Ka)
Gundam Models Designed and Produced by Kai

10 BOTTOM

(下半身の組立)

6

7

8

A5

C5

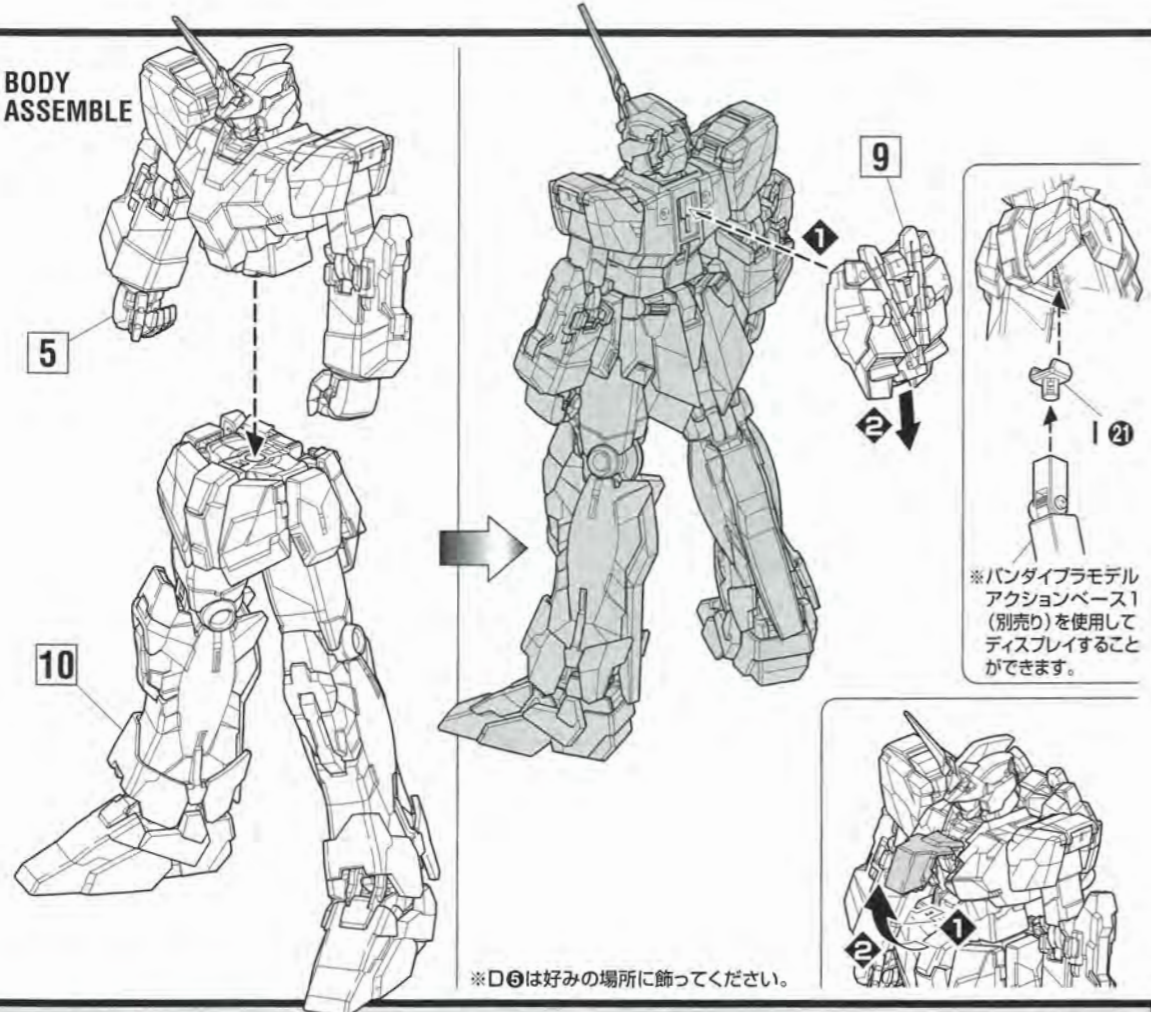
H6

C6

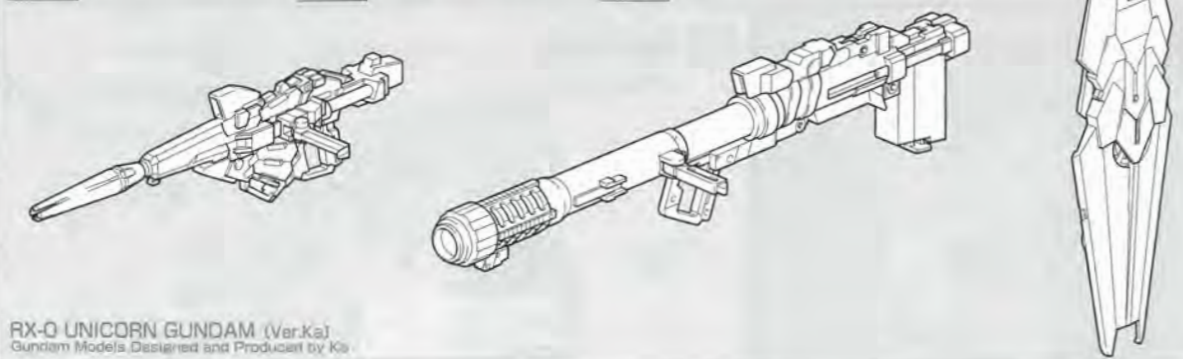
x2 (2個作る)

(両側に取り付ける)

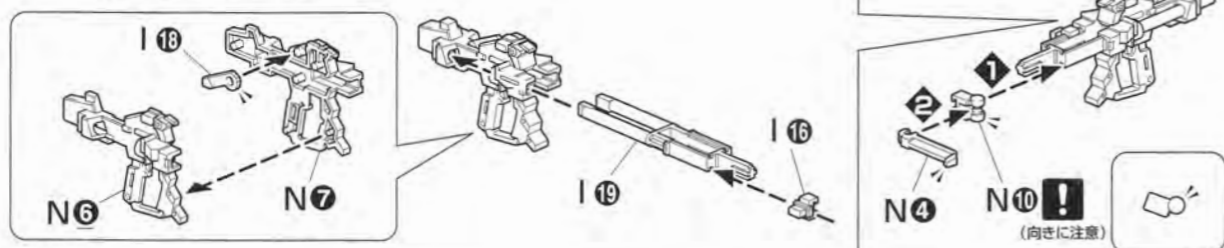
11 BODY ASSEMBLE



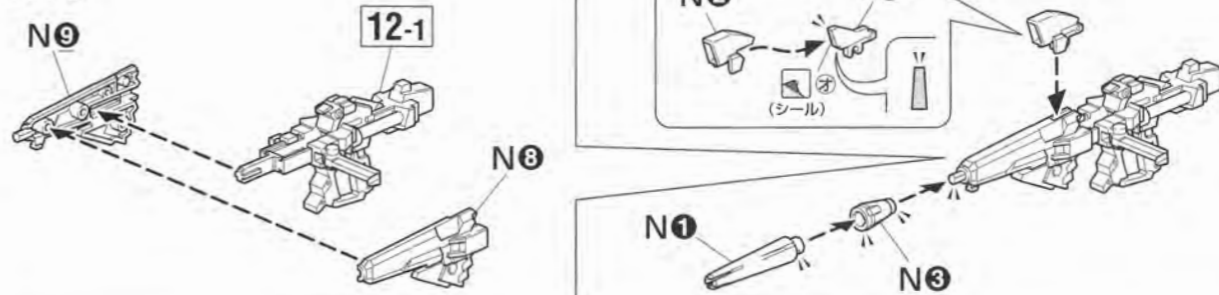
12 BEAM MAGNUM 13 HYPER BAZOOKA 14 SHIELD



12-1 BEAM MAGNUM (ビーム・マグナムの組立)



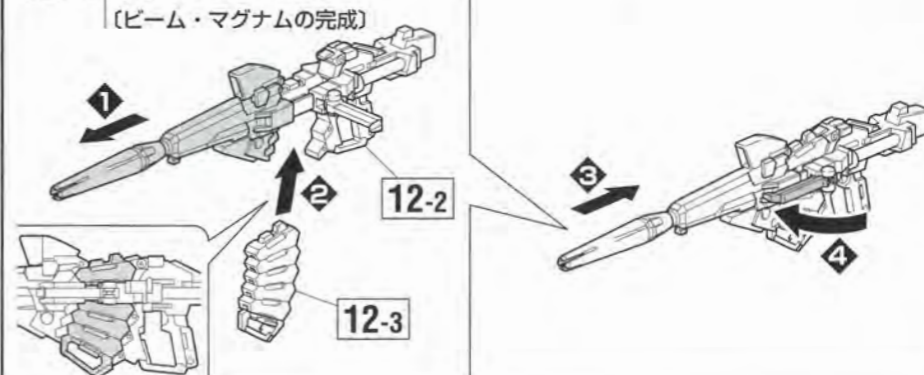
12-2



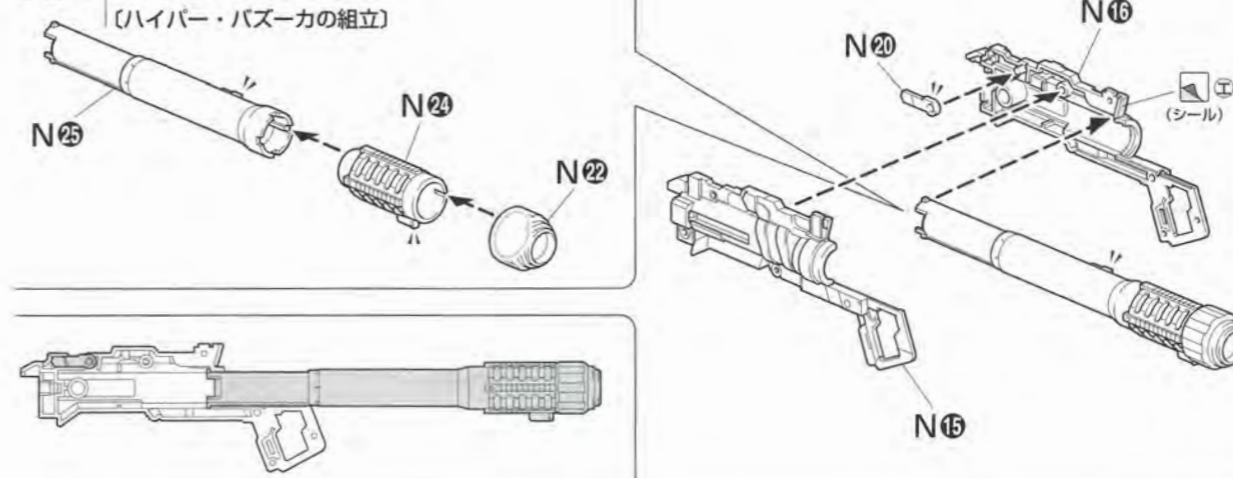
12-3



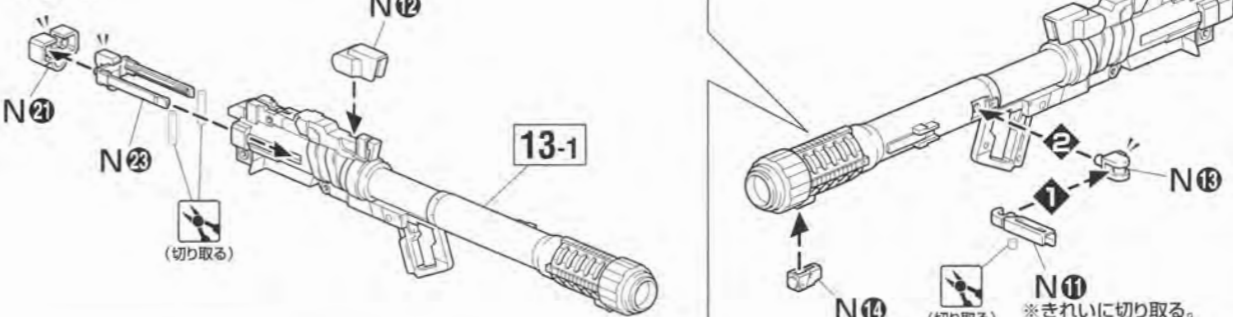
12-4 COMPLETION (ビーム・マグナムの完成)



13-1 HYPER BAZOOKA (ハイパー・バズーカの組立)

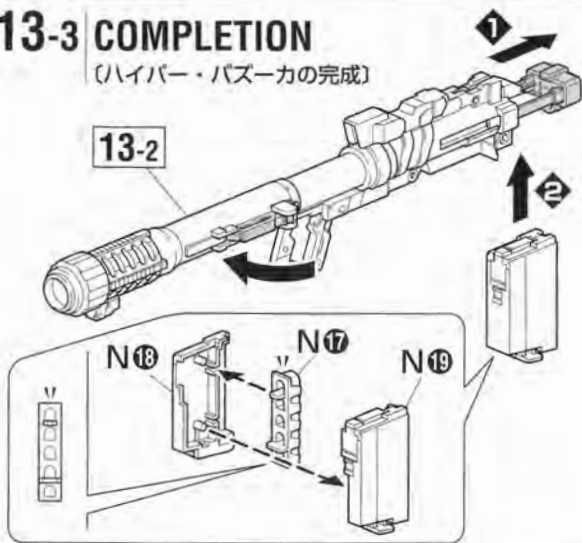


13-2



13-3 COMPLETION

(ハイパー・バズーカの完成)

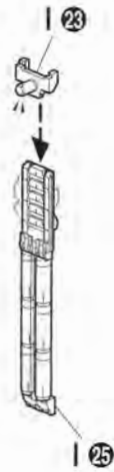


14-1 SHIELD

(シールドの組立)

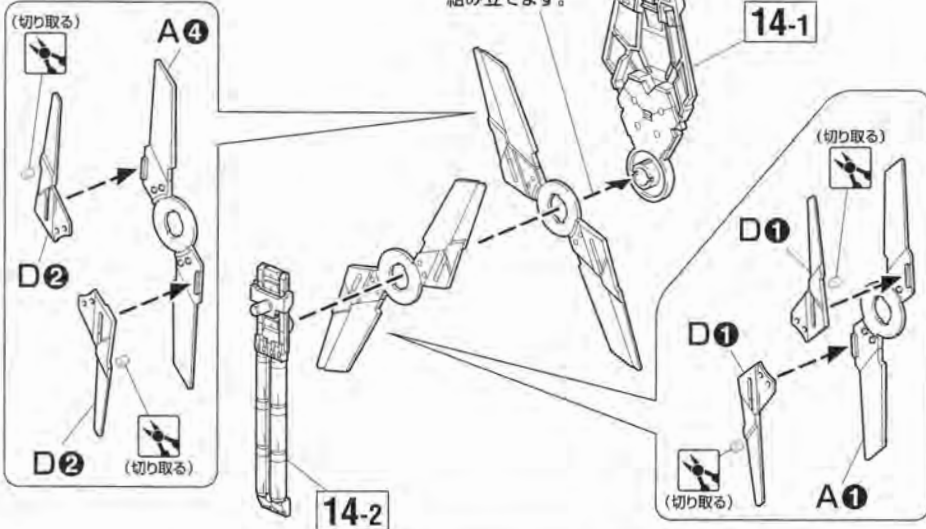


14-2

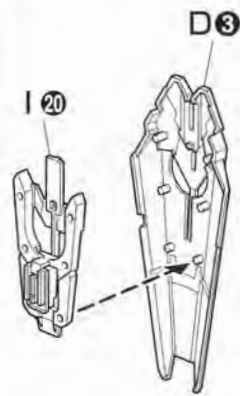


14-3

※ミノに合わせて組み立てます。

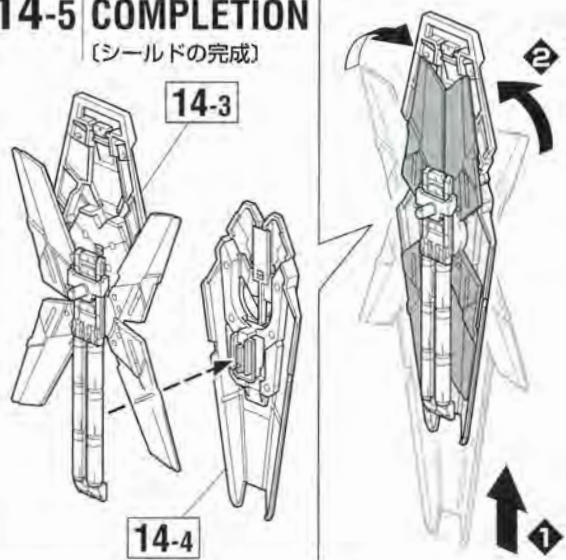


14-4



14-5 COMPLETION

(シールドの完成)



15-1 WEAPONS EQUIPMENT

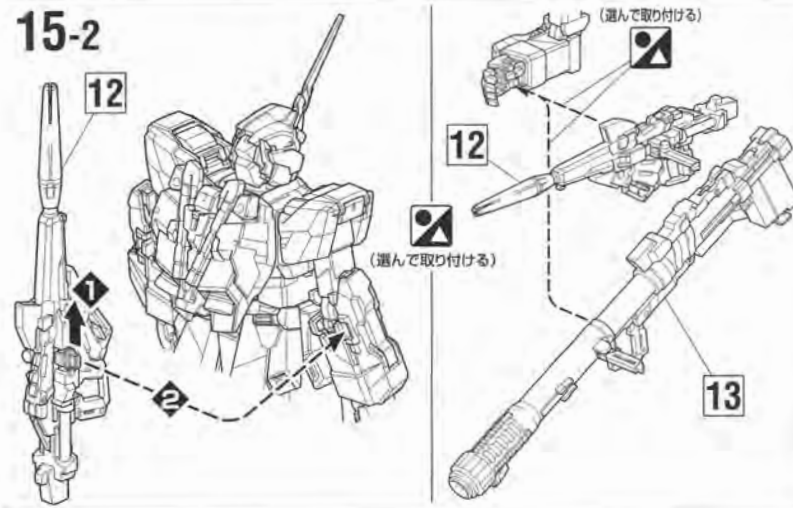
(武器の装備)

(両側動かす)

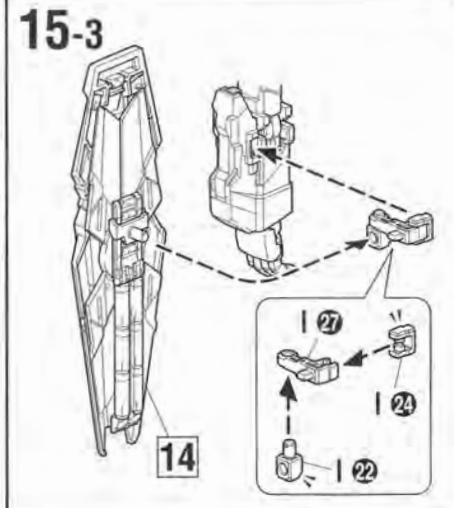
(両面に装備できます)



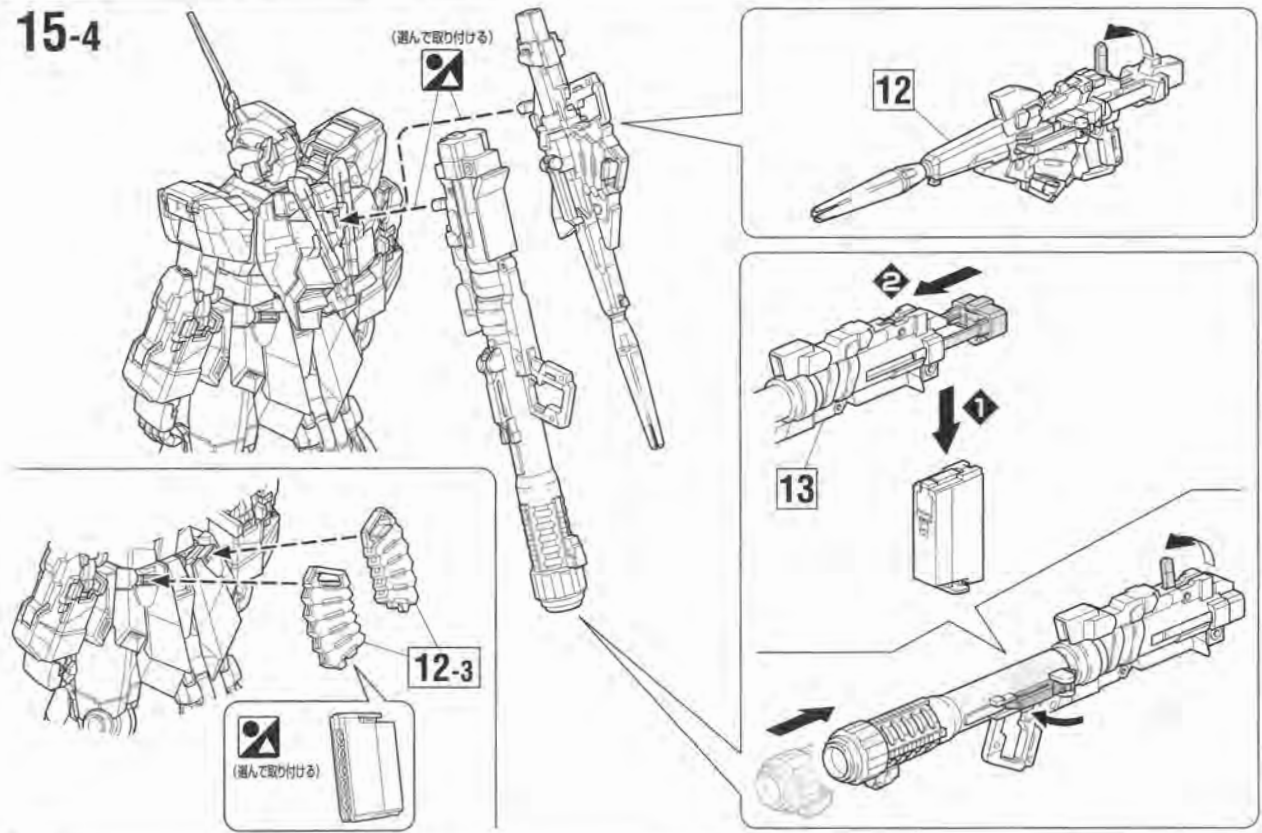
15-2



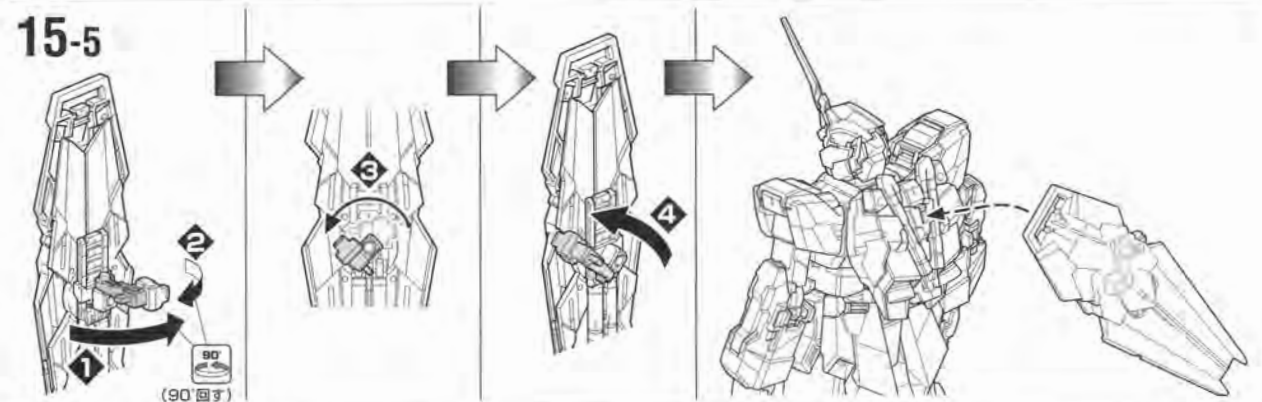
15-3



15-4

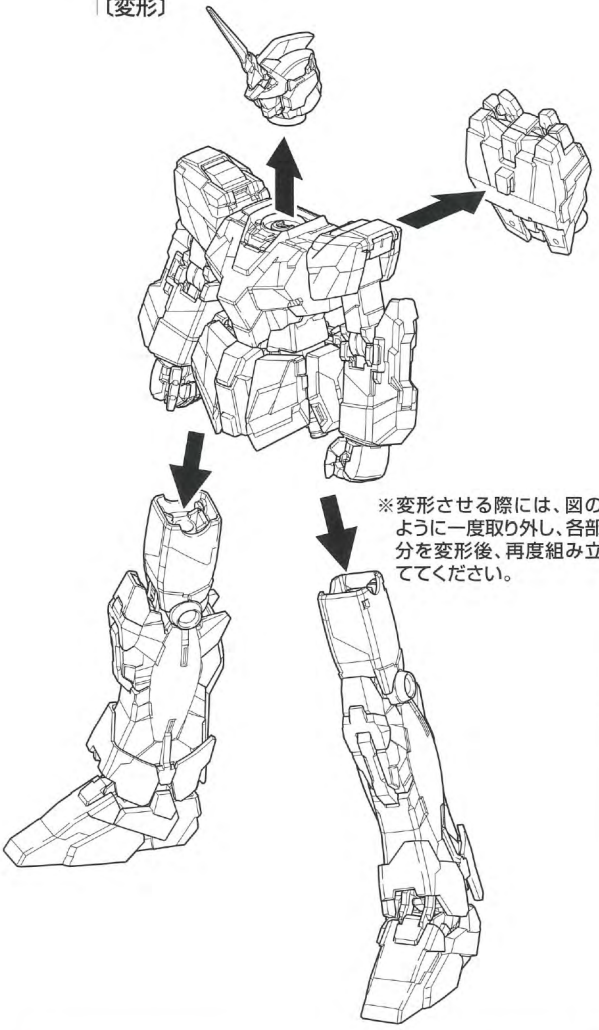


15-5



16 TRANSFORMATION

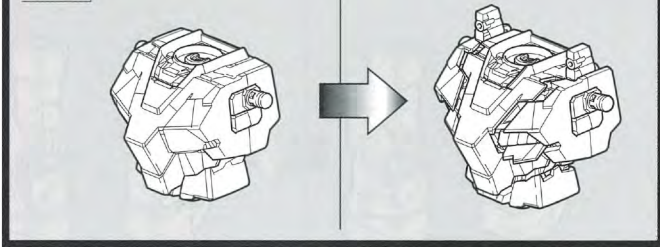
[変形]



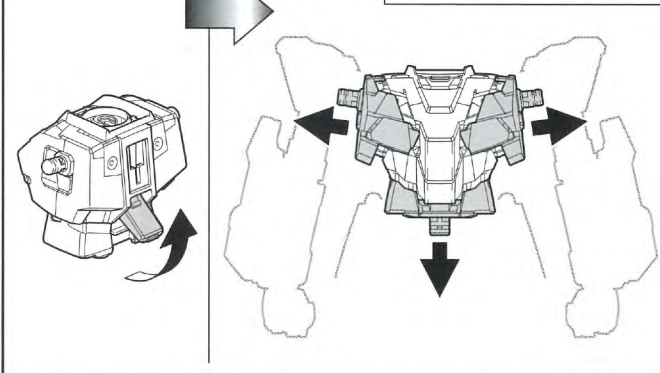
※変形させる際には、図のように一度取り外し、各部分を変形後、再度組み立ててください。

※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。

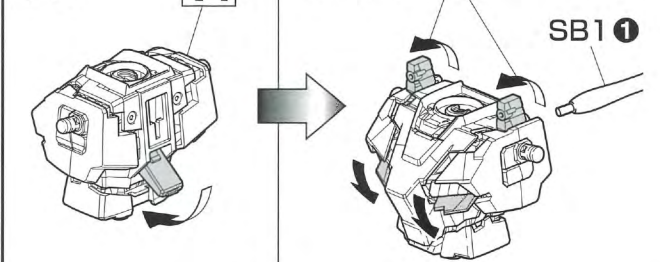
1 BODY



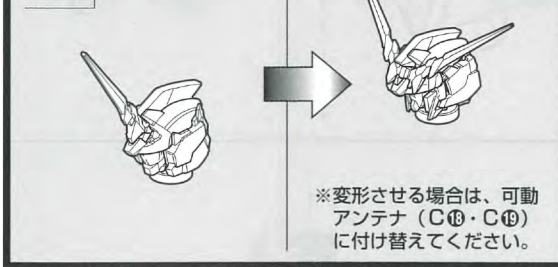
1-1



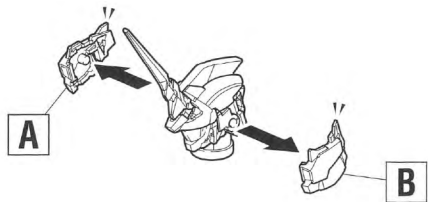
1-2



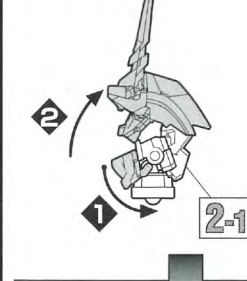
2 HEAD



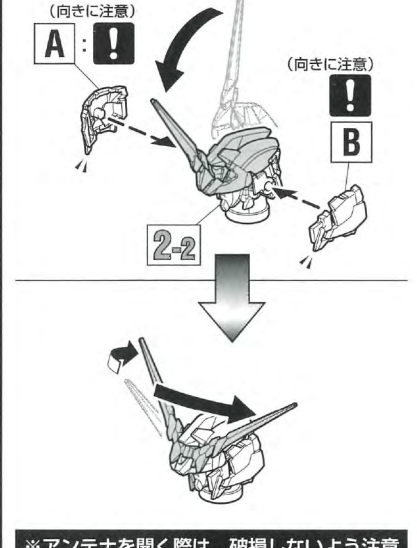
2-1



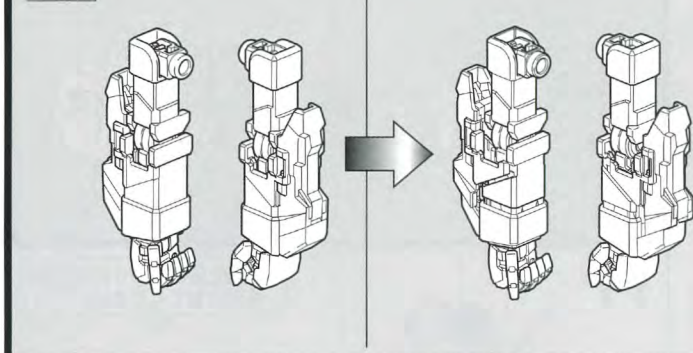
2-2



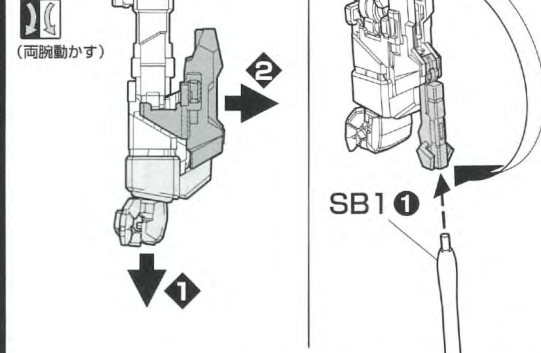
2-3



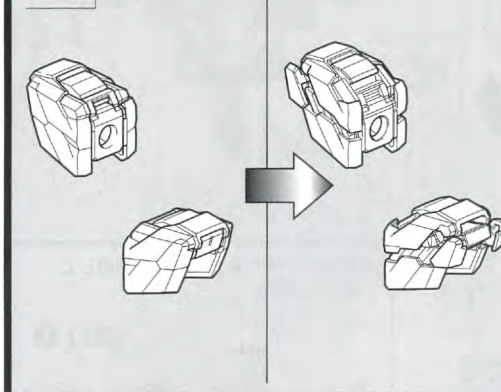
3 ARM



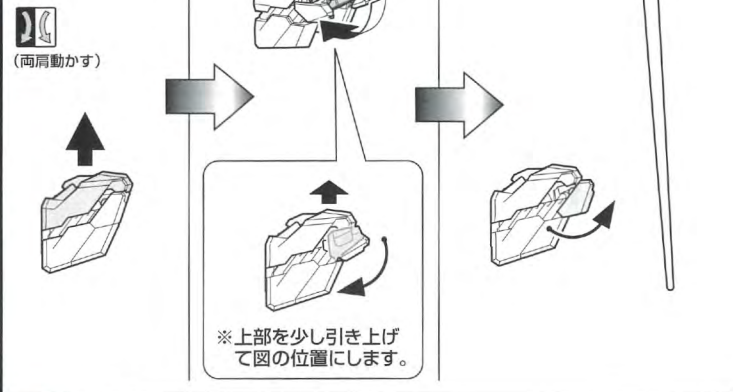
3



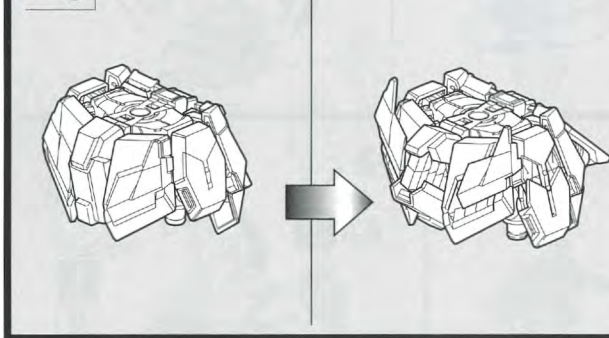
4 SHOULDER



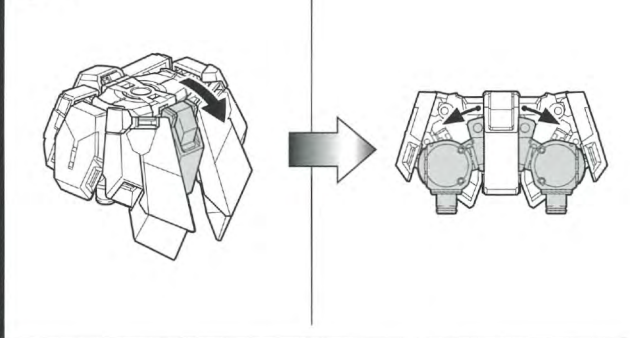
4



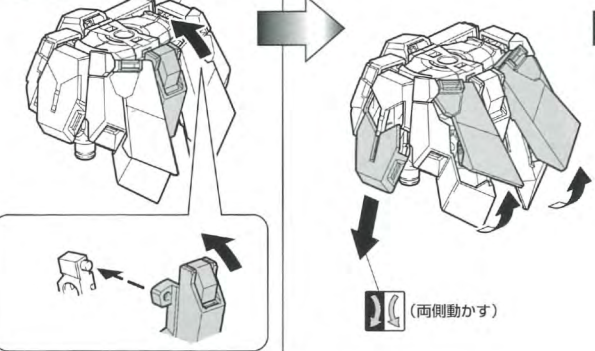
5 WAIST



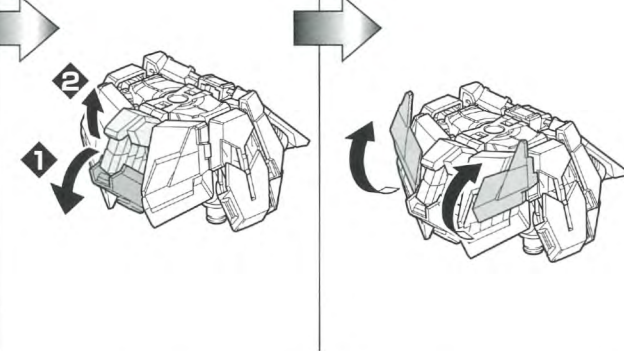
5-1



5-2

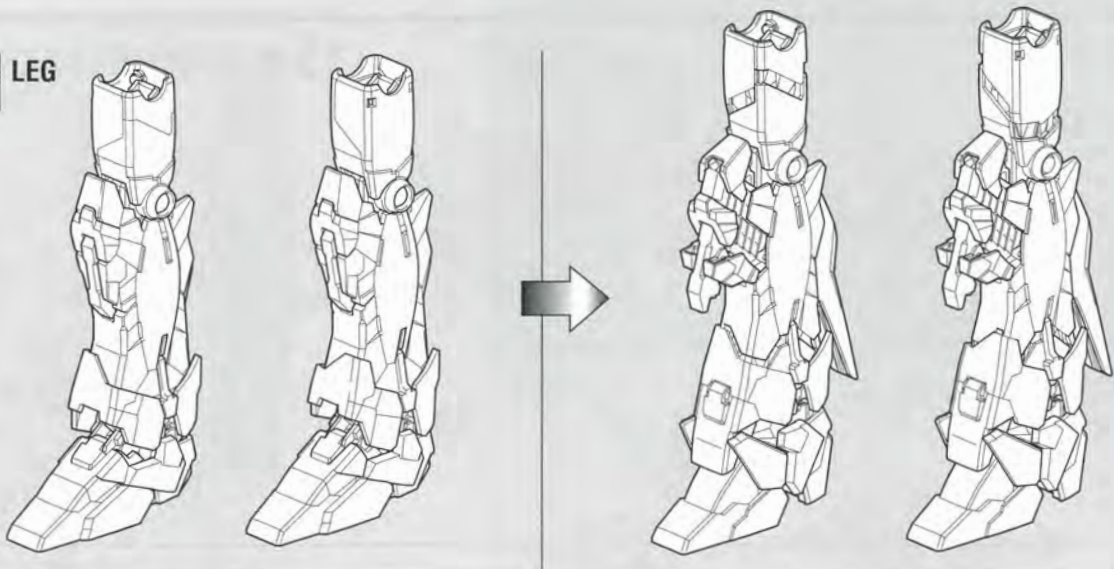


5-1



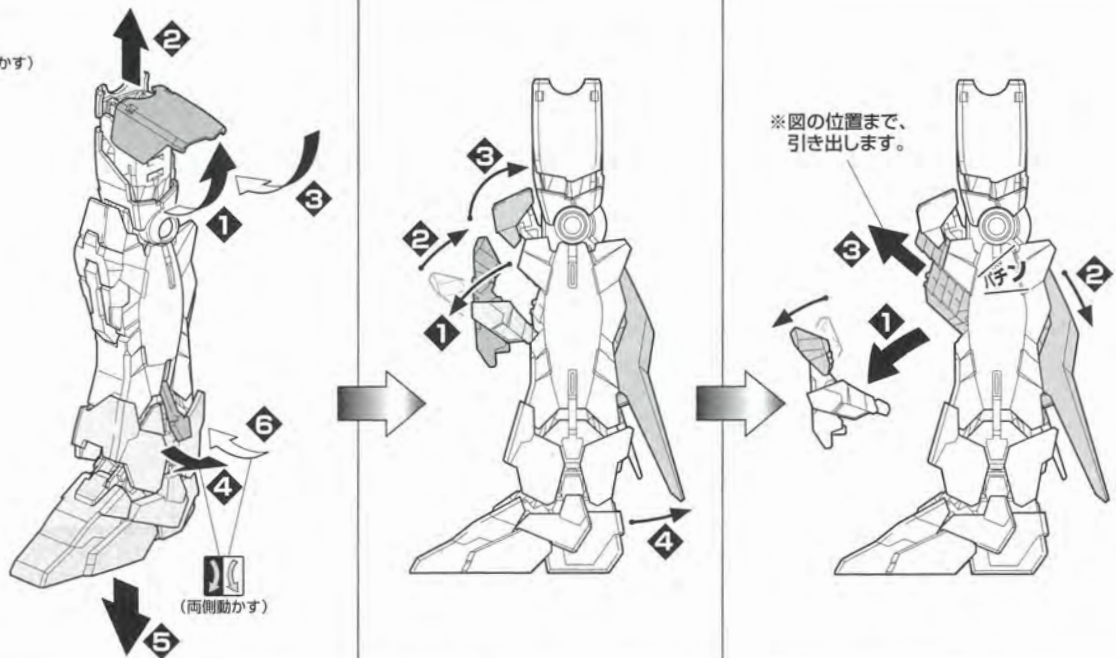
PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY WAIST LEGS BACK PACK BOTTOM BODY ASSEMBLE WEAPONS TRANSFORMATION

6 LEG

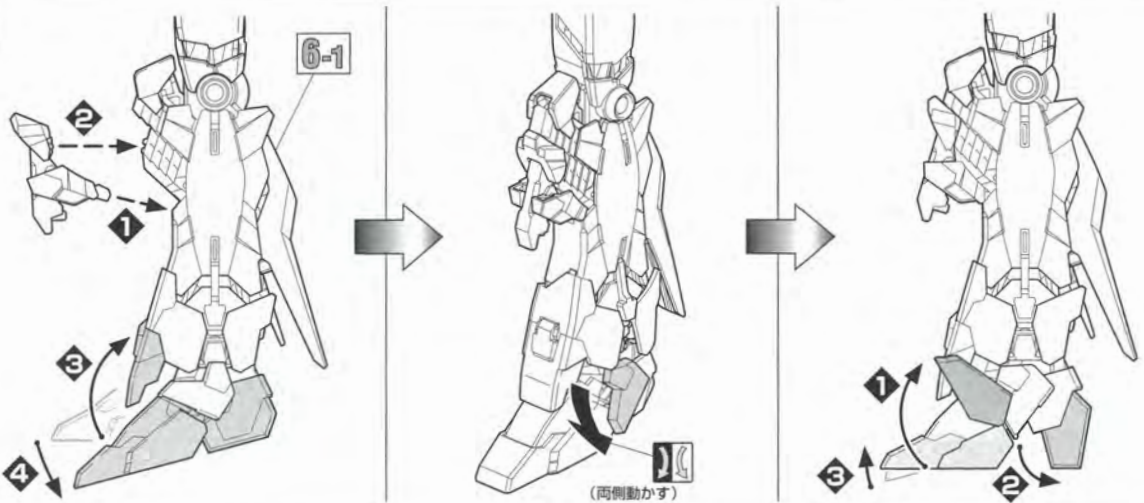


6-1

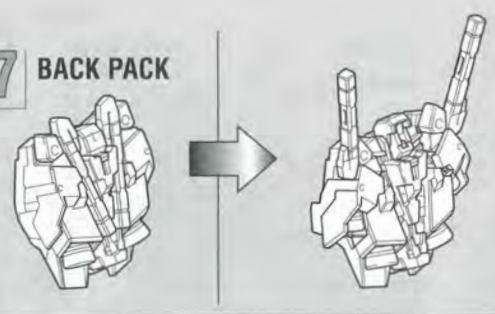
(両脚動かす)



6-2



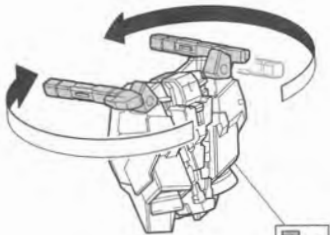
7 BACK PACK



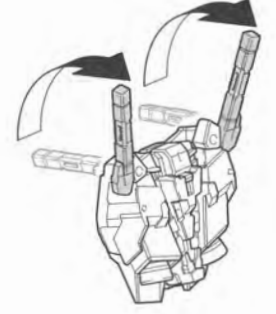
7-1



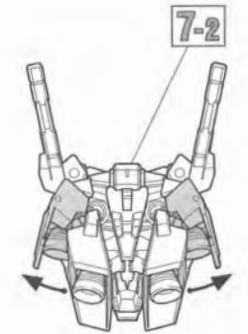
7-2



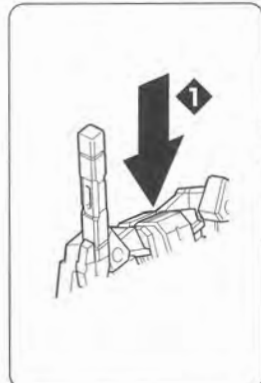
7-1



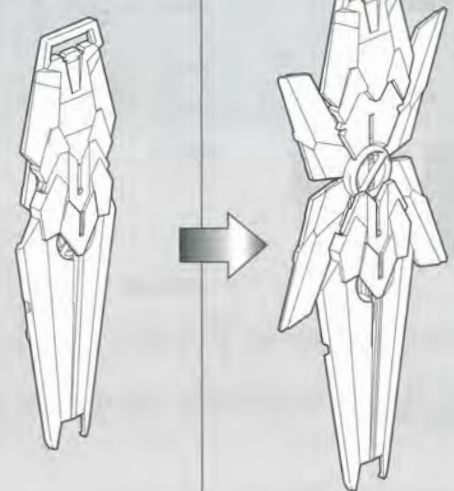
7-3



7-2

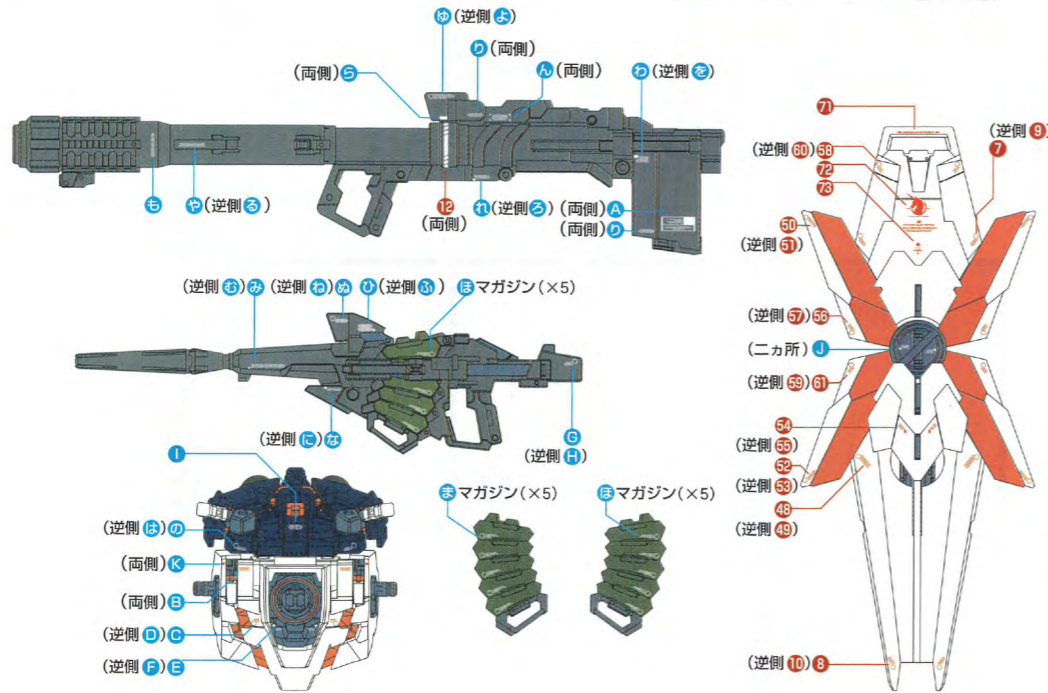
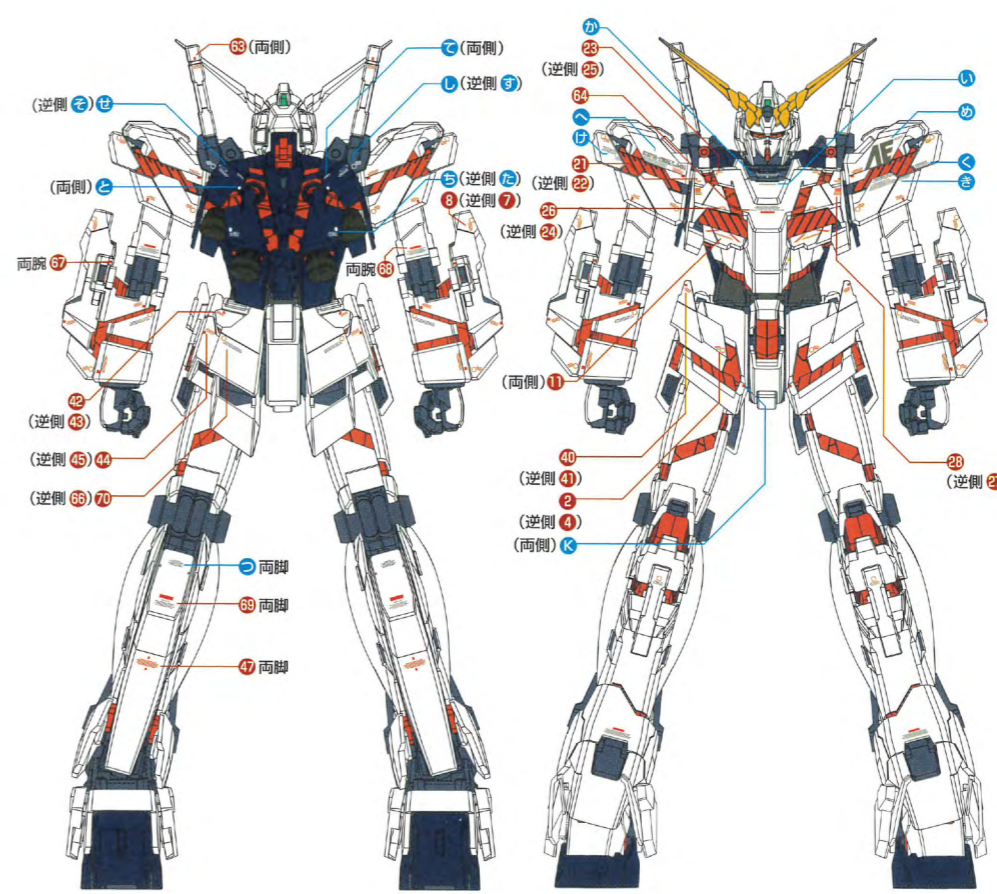
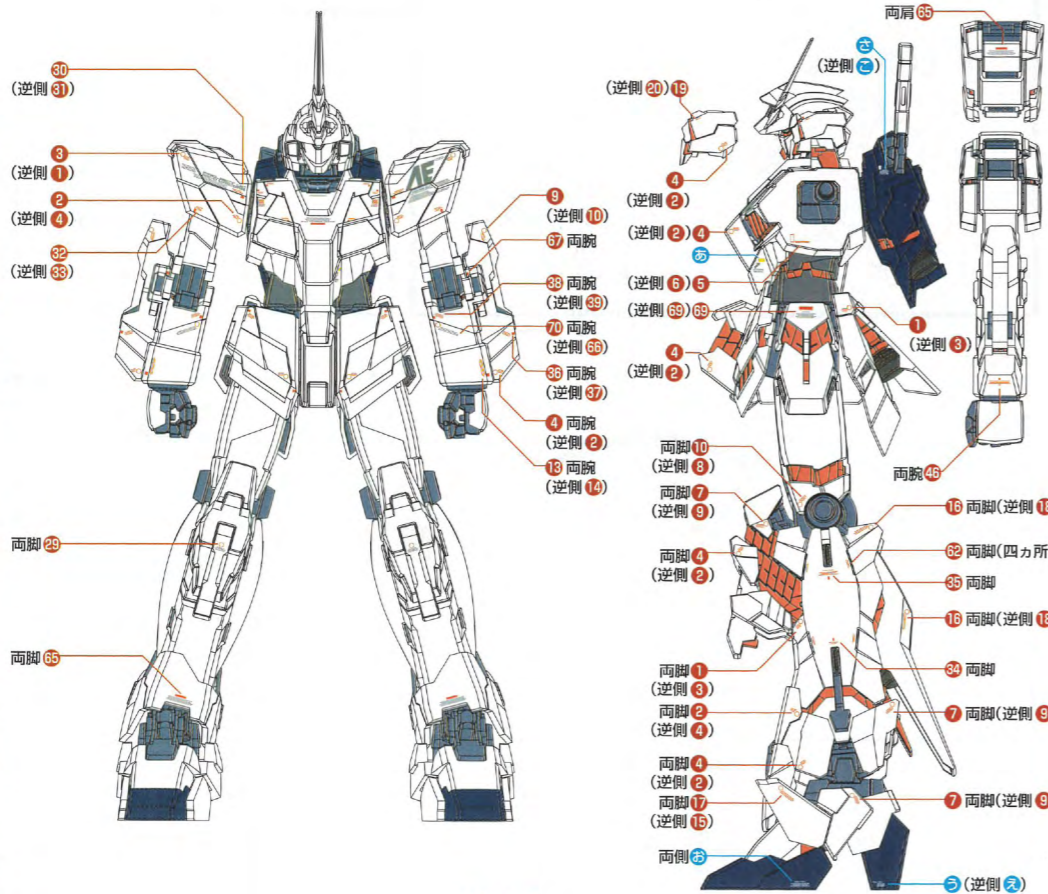
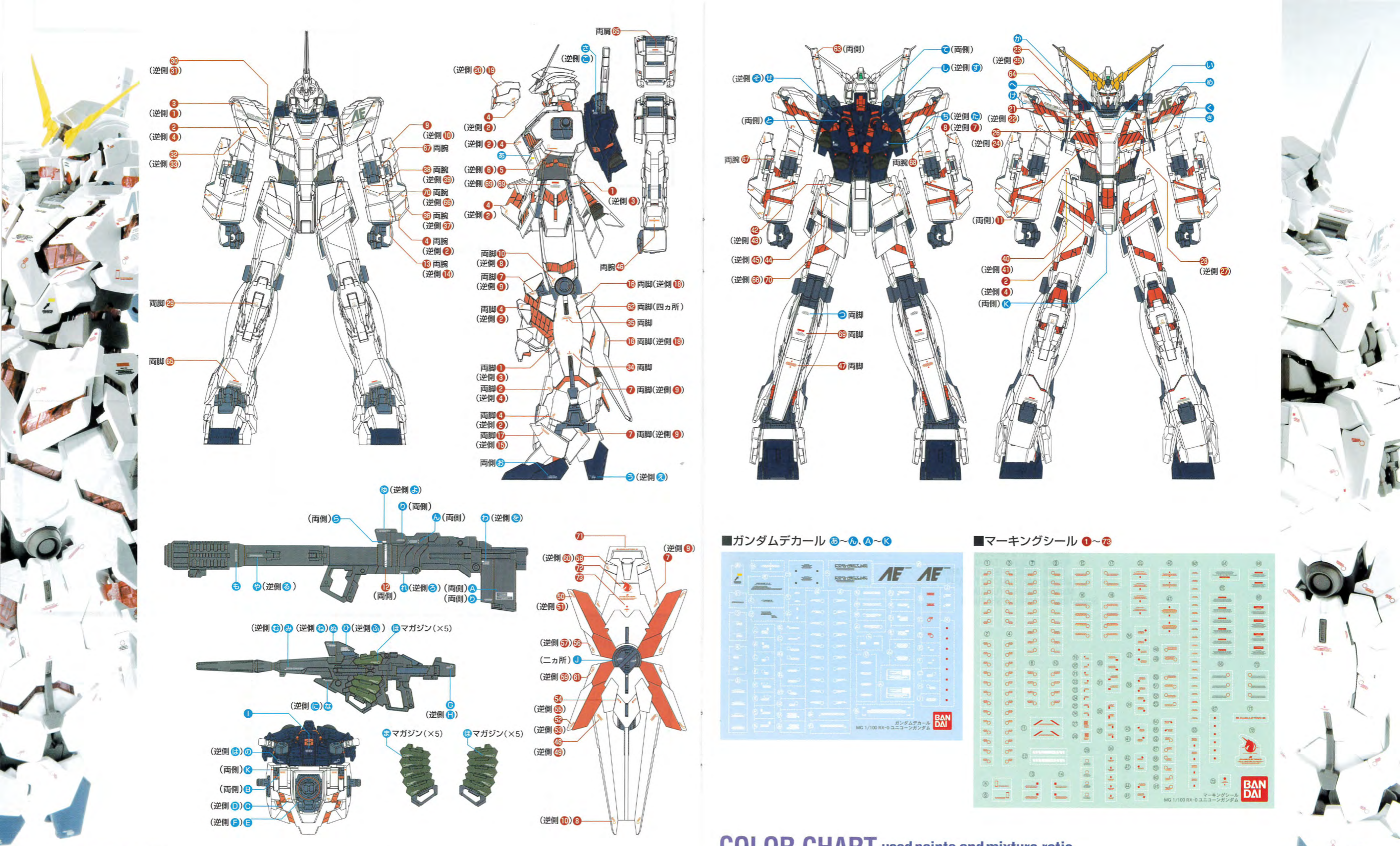


8 SHIELD

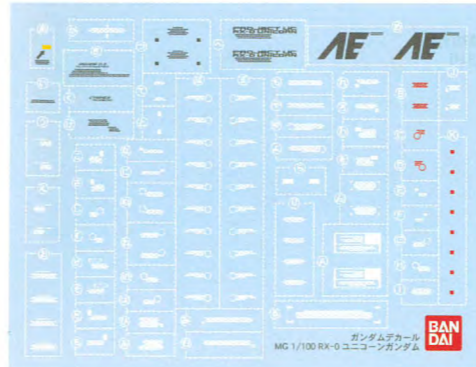


8

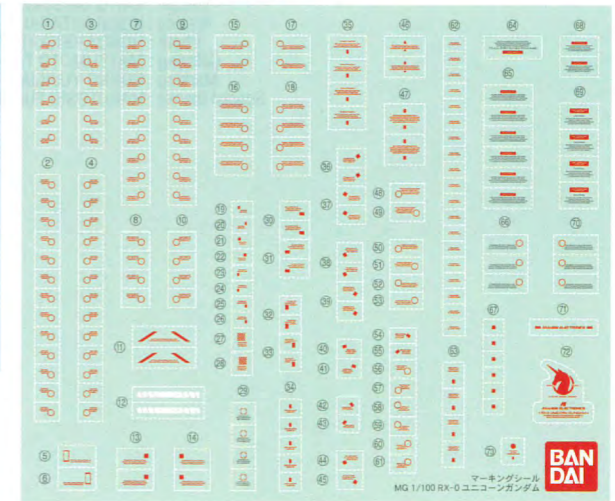




■ガンダムデカール ㉔~㉙、A~K



■マーキングシール ①~⑩











Gundam models Designed and produced by Ka
**RX-0
 UNICORN
 GUNDAM
 "Ver.Ka"**

COMPLETE DIAGRAM for painting and applying decals

■ガンダムデカールのはりかた
 1.転写するマークを大きめに切り取ります。
 2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペンなどの先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
 3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。
 ※マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、透明な余白をあらかじめカッター等で切り取ってお貼り下さい。
 ※指示の無い部分を貼る場合は、イラストを参考に貼して下さい。※余ったシールはご自由にお貼りください。

COLOR CHART used paints and mixture ratio

- ※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご確認ください。
 - ※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
 - ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
 - ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。
- | | | |
|---|---|--|
|  [白] ホワイト100% |  [黄] 黄褐色80%+ホワイト15%+蛍光オレンジ5% |  [薄いグレー(腰部)] ニュートラルグレー70%+ホワイト25%+マホガニー5% |
|  [青] コバルトブルー70%+ネービーブルー25%+蛍光ピンク5% |  [グレー(関節)] ニュートラルグレー80%+マホガニー20% |  [E(バック)] ネービーブルー80%+ダークグリーン20% |
| | |  [武器] ネービーブルー95%+ダークグリーン5% |
| | |  [カメラアイ] クリアグリーン40%+クリアブルー10%+クリアー50% (下地シルバーの上に) |